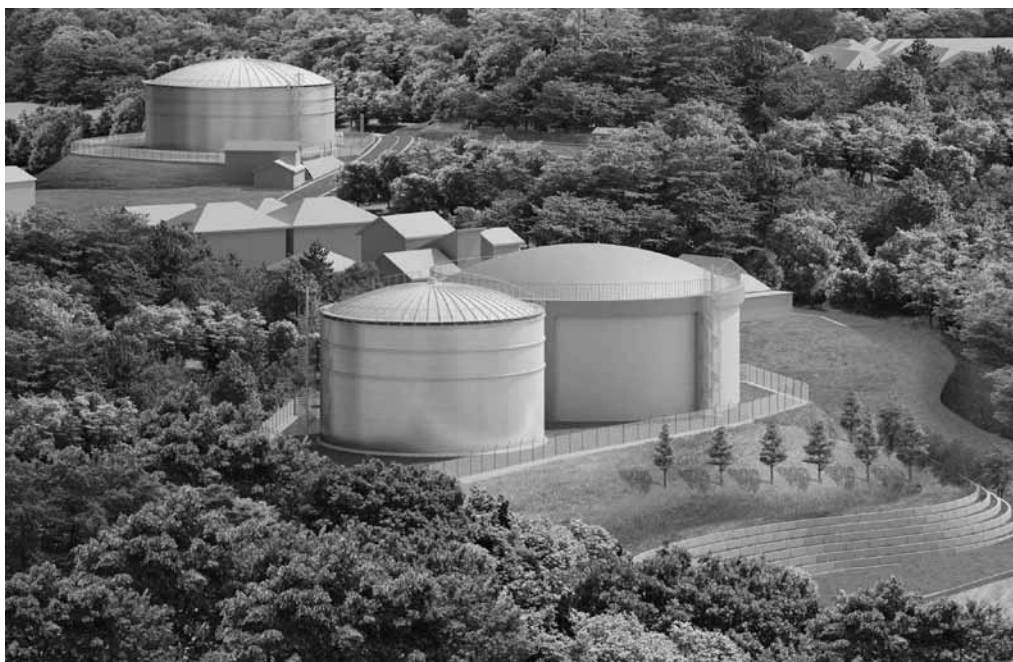


水道事業年報

—平成 28 年度(2016)版—



向山配水池等再構築事業完成イメージ

出雲市上下水道局

目 次

I 水道事業の概要

概要表

1. 水道事業の沿革	1
2. 平成 27 年度（2015）の事業概要	5
3. 平成 28 年度（2016）の事業計画	7
4. 出雲市水道事業の推移	8
5. 出雲市水道事業基本計画について	12
6. 給水区域	15

II 施設の概要

1. 水道施設フロー図	18
2. 現有施設一覧表	24
3. 配水管等の布設状況	48
4. 消火栓設置数	49
5. 簡易専用水道施設件数	49
6. 主要施設所在地	50

III 業務の概要

1. 薬品使用状況	51
2. 主要施設電力使用状況	51
3. 業務量の推移	52
4. 出雲市上水道給水戸数及び給水人口	54
5. 水質試験結果	56
6. 検針・収納状況	60
7. 料金の変遷	62
8. 加入金の変遷	69
9. 口径別有収水量と給水収益	70
10. 給水装置工事申請件数	71
11. 水道施設修繕工事件数	71
12. 指定給水装置工事事業者数	71

IV 財務の状況

1. 平成 27 年度（2015）出雲市水道事業会計 決算書	72
2. 出雲市水道事業会計 損益計算書	73
3. 出雲市水道事業会計 貸借対照表	74
4. 財務比率・経営比率	75
5. 給水原価及び供給単価算出図（平成 27 年度決算）	81

V 簡易水道事業

1. 平成 27 年度（2015）業務量	82
----------------------	----

VI 組 織

1. 機構図	84
2. 事務分掌	85
3. 職員配置表	89
4. 年齢別職員構成	89
5. 勤続年数別職員構成	89

I 水道事業の概要

じゃ口から 安心とどけ 未来まで

平成二十八年度 第五十八回水道週間スローガン

概 要 表

平成27年度末（H28. 3. 31）現在

水 道 名		給 水 開始年月	計画給水 人 口 (人)	現 在 給水人口 (人)	計画一日 最大給水 量 (m ³) *2	平成27年度 給水実績	
						一日最大 (m ³) *2	年間総量 (m ³)
出 雲 水 道 事 業	出雲地域 平田地域 大社地域	S33. 4 S28. 2 S43. 5	*1 138,600	131,566	*1 55,700	48,306	15,865,911
乙 立 簡 易 水 道	出雲地域	H14. 11	900	628	366	418	60,271
河 下 広 域 簡 易 水 道	平田地域	S58. 4	3,550	2,138	1,201	1,383	261,880
塩 津 簡 易 水 道	〃	S36. 2	300	154	100	56	11,485
美 保 簡 易 水 道	〃	S35. 2	177	93	56	54	8,429
島 村 簡 易 水 道	〃	S42. 10	406	348	134	170	32,432
東 部 統 合 簡 易 水 道	〃	S36. 9 (旧一畑簡 水開始)	1,870	1,518	825	867	166,425
須 佐 簡 易 水 道	佐田地域	S34. 3	2,050	1,721	995	1,182	230,386
窪 田 簡 易 水 道	〃	S48. 5	2,400	1,711	920	879	199,971
多 伎 簡 易 水 道	多伎地域	S30. 1	4,460	3,626	2,719	2,068	532,595
日 御 碕 簡 易 水 道	大社地域	S29. 4	840	593	582	442	73,616
鷺 浦 猪 目 簡 易 水 道	大社・平田 地域	S30. 4 (旧猪目簡 水開始)	297	301	148	186	29,017
阿 宮 簡 易 水 道	斐川地域	S57. 4	474	505	174	299	49,137
簡 易 水 道 事 業 合 計			17,724	13,336	8,220		1,655,644
多久谷畑飲料水供給施設	平田地域	H15. 3	26	26	7	25	1,415
水 道 事 業 合 計			156,350	144,928	63,927		17,522,970

*1 出雲水道事業の計画給水人口及び計画一日最大給水量は、一部の簡易水道事業の統合に伴う給水区域拡張後のものである。

*2 一日最大給水実績が計画一日最大給水量を超えているのは、寒波等による漏水事故のためである。

1. 水道事業の沿革

※出雲地域（平成18年度まで）

上水道事業の発足 昭和33年4月に今市水道(株)から買収

第1次拡張事業 昭和33年4月～（総事業費161,863千円）

計画給水人口31,500人・計画一日最大給水量11,500 m³

七面山に配水池を新設（2,000 m³）

神門・長浜・川跡・高浜を統合（S40）

第2次拡張事業 昭和40年4月～（総事業費217,641千円）

計画給水人口50,000人・計画一日最大給水量18,250 m³

高松・古志・神西・外園・鳶巣・朝山の一部を給水区域に加える

七面山に配水池2基（1,000 m³×2）を増設（S42）

妙見山配水池を新設（S43）

大社町へ分水開始（S42）

第3次拡張事業 昭和45年4月～（総事業費1,523,322千円）

計画給水人口68,000人・計画一日最大給水量40,000 m³

向山配水池（10,000 m³）を新設（S48）し、配水系統を七面山系統と
向山系統に二分

湖陵町へ分水開始（S47）

第4次拡張事業 昭和54年3月～（総事業費6,015,465千円）

計画給水人口90,200人・計画一日最大給水量60,000 m³

上島水源地の建設（日量30,000 m³を取水）

上津・稗原を統合（S63）

所原・見々久を給水区域に加える

上新宮地区を給水区域に加える

第5次拡張事業 平成9年4月～（総事業費9,020,400千円）

計画給水人口99,200人・計画一日最大給水量55,500 m³

新向山配水池の新設・送配水管整備（H17）

北山配水池、ポンプ場、上津・稗原配水区域の整備ほか

給水水質の向上（赤水、クリプトスポリジウム対策）

来原浄水施設の築造（H13～18）

石綿セメント管の布設替え

※平田地域（平成18年度まで）

水道事業の発足	昭和28年2月～（総事業費 54,500 千円） 計画給水人口 10,000 人・計画一日最大給水量 1,400 m ³ 平田町の市街地・灘分町の一部を給水地域に加える
第1次拡張事業	昭和31年11月～（総事業費 85,600 千円） 計画給水人口 16,000 人・計画一日最大給水量 2,400 m ³ 平田市、平坦部全域東西 10 kmにわたる配水管の拡張、愛宕山配水池、布崎配水池、国富配水池の新設、緩速ろ過池 2 池新設、水源地の整備
第2次拡張事業	昭和37年12月～（総事業費 22,051 千円） 計画給水人口 20,000 人・計画一日最大給水量 3,600 m ³ 第2水源新設、緩速ろ過池 2 池及び浄水池 1 池増設、送配水管拡張
第3次拡張事業	昭和48年2月～（総事業費 434,841 千円） 計画給水人口 20,000 人・計画一日最大給水量 6,800 m ³ 第3水源新設、第4水源（美談）新設、浄水施設の改良（急速ろ過機等）、送配水管拡張、愛宕山配水池（2,500 m ³ ）新設
第4次拡張事業	昭和52年11月～（総事業費 218,900 千円） 計画給水人口 24,000 人・計画一日最大給水量 8,400 m ³ 美野を統合、既設水源井の改良による取水量増設
第5次拡張事業	平成2年12月～（総事業費 758,000 千円） 計画給水人口 24,700 人・計画一日最大給水量 10,000 m ³ 金山水源新設（1,000 m ³ ）、灘分水源改良（7,900 m ³ ）、第4水源（美談）改良（600 m ³ ）
灘分浄水場改良	平成12年度～16年度（老朽施設の改修・水源別浄水方法の変更） 総事業費 1,654,000 千円

※大社地域（平成18年度まで）

水道事業の発足	昭和42年3月31日事業創設認可 昭和43年5月1日 出雲市から分水し、遙堪簡易水道事業により給水開始 その後、荒木簡易水道事業により給水開始
上水道事業の発足	昭和55年度 大社町上水道事業基本計画を策定 昭和56年4月1日 上水道事業発足 計画給水人口16,690人・計画一日最大給水量7,425 m ³ 杵築・遙堪・荒木を給水区域に加える
事業概要・経緯	昭和56年度・昭和57年度 浜受水場や浜山配水池（3,300 m ³ ）等の主要施設整備を実施 配水管布設整備を年次計画により進め、昭和57年度は神門通周辺を中心に整備 くにびき国体開催時には宿泊施設のある地区の給水が可能となった 昭和59年度 湊原地区に宍道湖西部浄化センターが建設されることになったため、その周辺環境整備事業の一環として、県事業で湊原、大梶、四軒屋、川方西・南の一部に配水管を布設した。 昭和63年度 菱根の一部に配水管を布設し、高浜川より南側は浜山水系へ 平成元年度 遙堪地区山手の4箇所に増圧ポンプ施設を設置し、残る遙堪水系を浜山水系に一本化 その後、投資の効率化を図り下水道の污水管布設と同時に実施 また、平成6年度から年次計画により上水道未普及地域の解消を図った。

※上水道事業全域（平成19年度以降）

第6次拡張事業 平成19年度

来原浄水場（自家発電設備設置）、平田地域石綿管更新（～H20）、
県受水関連管路整備（～H22）

平成20年度

山廻制御弁室築造

平成21年度

新向山系配水本管整備（～国道9号バイパス）（～H23）

鷹の沢制御弁室築造

灘分浄水場自家発電設備設置

上津浄水場整備（紫外線）（～H23）

平成22年度

来原調整池耐震化

県受水関連施設整備（本郷配水池・伊野配水池）

水道未普及地域解消事業着手 大社中山地区（～H25）、平田鹿園寺地区（～H23）

平成23年度

島根県水道用水供給事業からの受水開始（H23.4.1）

地合簡易水道の上水統合（H23.4.1）

金山水源地硬度処理設備設置

水道未普及地域解消事業着手 平田苅藻谷地区（～H25）

平成24年度

湖陵・差海簡易水道の上水統合（H24.4.1）

上島水源地 第7取水井増設

水道未普及地域解消事業給水開始 平田鹿園寺地区

平成25年度

妙見山配水池に緊急遮断弁設置

平成26年度

大社中山地区、平田苅藻谷地区給水開始

簡易水道統合に向けた水道事業変更認可申請の提出と管路更新計画の策定

平成27年度

向山配水池等再構築事業の着手（～H30）

2. 平成27年度(2015)の事業概要

(はじめに)

平成27年度は、夏から秋にかけて西日本を中心に低温の時期があり、2年連続の冷夏で給水量の減少が懸念されました。また、1月には12年ぶりの寒波による凍結により、宅地内水道管の漏水が多発したため、水道料金の特別減免を行いました。

しかしながら、行政区域内戸数及び人口の微増に伴い、給水戸数・人口も若干増加し、口径20ミリ以下の水栓件数増加を主要因として1%程度の総有収水量の増加が見られました。これにより水道料金収入(消費税抜)は、前年に比べ24,383千円の増加となりました。

施設面では、耐震化が必要と診断された主要配水池である向山配水池等の再構築事業を公募型プロポーザルにより事業者を決定し、平成27年度から平成30年度までの継続事業として新向山配水池地内に新向山第2配水池を新設するとともに、向山配水池を撤去し跡地に新しく配水池を築造する事業に着手しました。

また、事業経営における将来負担の軽減を図るため、今年度も引き続き62,832千円の繰上償還を行いました。

(業務の状況)

給水戸数は48,620戸(前年47,624戸)、給水人口は131,566人(前年130,926人)となり、給水区域内人口に対する普及率は98.9%となりました。

年間総配水量は15,865,911 m^3 、年間総有収水量は14,435,437 m^3 となり、有収率は90.98%となりました。有収率については、寒波による影響もあり0.34%減少しました。

(経営の状況)

収益的収入及び支出(消費税抜)については、事業収益は2,857,581千円、事業費用は2,355,999千円となり、収入支出差引で501,582千円余の純利益が生じました。

純利益は、昨年度と比べ大幅に増額となっております。これは収入面で水道料金の微増や退職給付引当金の戻入益の増、支出面では電気料金の減による動力費の減、配水施設修繕箇所等の減少による修繕費の減、水道事業認可変更及び管路更新計画策定委託料等の減に伴うその他営業費用の減に加え、平成26年度から新地方公営企業会計制度の導入により一時的に増となっていた賞与引当金、貸倒引当金、退職給付引当金の減及び繰上償還の実施による補償金の減に伴う特別損失の減少によるものが主な理由です。ただし、純利益には会計制度の改正により新たに収入となった長期前受金戻入(341,429千円)を含んだものとなっています。

資本的収入及び支出(消費税込)については、収入は357,986千円、支出は1,152,103千円となりました。この資本的収入及び支出の差引不足額794,117千円については、損益勘定留保資金、消費税資本的収支調整額及び減債積立金で補填することとしました。

（第 6 次拡張・改良事業）

主な事業は、平成 27 年度から 4 か年の継続事業として向山配水池等再構築事業、向山配水池等再構築事業に伴う送・配水本管設計業務及び中野美保地内外配水本管布設工事に着手しました。その他平田地域農道配水系・多久配水系配水管整備事業のほか、出雲地域の老朽管更新工事などを 290,374 千円で実施しました。

また、翌年度への繰越しとして、老朽管更新事業である湖陵町差海地内湖陵中継ポンプ場前付近配水管布設替工事 1 件 14,403 千円を事故繰越しとしました。

（一般拡張・改良事業）

主な事業は、配水管の拡張・改良事業であり、道路や下水道事業など公共事業に関連する配水管等の布設替のほか、揚水試験井築造・ポンプ井取替などの構築物工事及び水源地・ポンプ所の機械及び装置の更新等を 298,502 千円で実施しました。

また、公共工事関連の繰越しに連動して、建設改良繰越し 3 件 17,529 千円、事故繰越し 5 件 81,716 千円を翌年度に繰り越しました。

（保存工事）

前記の第 6 次拡張・改良事業及び一般拡張・改良事業に関連して行った給水管切替、消火栓設置替工事等を 122,396 千円、日常の小規模配水施設修繕等に 85,738 千円及び水源施設修繕を 32,618 千円で実施しました。

また、一般拡張・改良事業と同様に公共工事関連の繰越しに連動して、事故繰越し 6 件 21,845 千円を翌年度に繰り越しました。

（むすび）

水道事業は、施設の老朽化に伴う更新投資の拡大、人口減少に伴う料金収入の減少等に加え、平成 29 年 4 月に予定している簡易水道事業の統合により、経営環境は一層厳しさを増すことが予想されます。

しかしながら、水の供給に伴う必要なサービスを安定的に継続すること、また今後も安定的な事業経営を行っていくことの大切さから、中長期的視点に立った経営基盤の強化に取り組むことが求められています。

このため、平成 28 年度から概ね 2 か年をかけ、水道事業ビジョン・経営戦略を策定することにしており、この中で投資計画と財政計画のバランスを見ながら、ふさわしい料金のあり方を模索していくこととしております。

市民の皆様に安全、安心な水道水を安定かつ可能な限り安価に供給することを使命とし、今後も老朽施設の更新や基幹管路の整備などを計画的に実施していくとともに、維持管理経費の縮減に努めてまいります。

3. 平成 28 年度(2016)の事業計画

(1) 業務予定量（当初予算書 第2条）

・総配水量	15,590,000 m ³
・一日平均配水量	42,712 m ³
・一日最大配水量	48,307 m ³
・給水戸数	48,000 戸
・給水人口	131,000 人
・建設改良 総事業費	1,883,908 千円
事業内容	第6次拡張・改良事業並びに一般拡張・改良事業

(2) 建設改良事業の主な内容

第6次拡張改良事業	向山配水池等再構築事業
	新向山配水系配水本管整備事業
	老朽管更新事業
	施設耐震化対策事業（来原）

(3) 水道事業ビジョン及び経営戦略等策定の主な内容

水道事業ビジョンの策定、経営戦略の策定
水道事業基本計画・実施計画の策定
耐震化基本計画の策定、アセットマネジメントの策定
管路更新計画（簡易水道区域）の策定、区域拡張に係る届出書の作成

(4) 予算（当初）概要

収益的収入及び支出	事業収益	2,997,541 千円
	事業費用	2,661,505 千円
資本的収入及び支出	資本的収入	474,621 千円
	資本的支出	2,264,140 千円
	不 足	1,789,519 千円
資本的収支不足額の補填財源	当年度分損益勘定留保資金	866,218 千円
	過年度分損益勘定留保資金	390,074 千円
	当年度分消費税資本的収支調整額	126,278 千円
	建設改良積立金	406,949 千円

(5) 職員体制 上水道 38 名（平成 28 年（2016）4 月 1 日現在）

4. 出雲市水道事業の推移

拡張事業の概要(事業認可)

事業名 認可項目		第1次拡張事業 (買収)	第2次拡張事業	第3次拡張事業
年 月 日		昭和32年12月12日	昭和39年12月28日	昭和45年1月10日
計画	給 水 人 口	31,500人	50,000人	68,000人
	1 日 最 大 給 水 量	11,500m ³	18,250m ³	40,000m ³
	1 人 1 日 最 大 給 水 量	365ℓ	365ℓ	590ℓ
着 工 年 月 日		昭和33年4月1日	昭和40年4月1日	昭和45年4月1日
竣 工 年 月 日		昭和37年3月31日	昭和43年3月31日	昭和56年3月31日
事 業 費		161,863千円	217,641千円	1,523,322千円
主 要 施 設 ※第5次拡張事業(3回目変更)までは実績、第6次拡張事業及び第7次拡張事業は計画を記載		※今市水道(株)から買収 ※取水施設 取水井φ5,000×2井 導水管φ300 488m ※送水施設 ポンプ 5台 送水管φ350 1,406m ※配水施設 配水池1,000m ³ ×2池 配水管φ100～φ400 25,248m	※取水施設 取水井φ5,000×2井 導水管φ300～φ500 592m ※送水施設 ポンプ 5台 送水管φ350 1,409m ※配水施設 配水池1,000m ³ ×2池 (P C) 487m ³ ×1池 配水管φ100～φ350 43,909m	※取水施設 取水井(満州井戸) φ5,000×3井 ポンプ井φ5,000×1井 導水管φ300～φ800 621m 深井戸φ750×2井 取水ポンプ 2台 ※浄水施設 急速ろ過装置 1式 接触槽 1式 沈殿池 1池 ※送水施設 ポンプ 3台 自動制御装置 1式 電気設備 1式 送水管φ500 1,525m ※配水施設 配水池10,000m ³ ×1池 (P C) 486m ³ ×1池 配水管φ100～φ700 85,434m 減圧調整弁 1式 テレメーターテレコン 装置 1式

第4次拡張事業	第4次拡張事業 (1回目変更)	第4次拡張事業 (2回目変更)
昭和53年12月15日	昭和63年(1988) 3月31日	平成元年(1989) 3月31日
90,200人	88,500人	89,900人
60,000m ³	54,000m ³	54,500m ³
6650	6100	6060
昭和54年3月31日	平成元年(1989) 4月	平成元年(1989) 4月
平成2年3月31日	平成13年(2001) 3月	平成13年(2001) 3月
4,709,249千円	351,688千円	954,528千円
※取水施設 取水井φ750×5井 取水ポンプ 5台 ポンプ井 1井 導水管φ600 6,914m 水管橋工事 1式 トンネル工事 1式 ※浄水施設 塩素滅菌設備 1式 ※送水施設 ポンプ 2台 送水管φ500 54m 電気計装設備 1式 自家発電設備 1式 ※配水施設 集中管理制御装置 1式 管理棟 1棟 水源地構内設備 1式 配水管φ100～φ600 49,454m ※用地取得 44,742m ²	※配水施設 下新宮増圧ポンプ場 1式 上新宮増圧ポンプ場 1式 麻床増圧ポンプ場 1式 上組増圧ポンプ場 1式 麻床調整池 1池 配水管布設 5,269.6m ※石綿管改良 11,182m ※送水施設 送水ポンプ 上津 2台 宇那手 2台 岩倉 2台 ※配水施設 岩倉 1池 奥井谷 1池 大平 1池 ※配水管φ100～φ300 19,226m ※旧簡易水道地区配水管布設 φ100、150、200 7,647m	※送水施設 朝山ポンプ所築造 1式 堂原ポンプ所築造 1式 御方ポンプ所築造 1式 電気計装 1式 送水管φ75～φ100 1,917.8m ※配水施設 朝山配水池築造 2池 堂原配水池築造 2池 御方配水池築造 2池 大月、須原、畑ポンプ所 施設築造 配水管布設φ25～φ150 31,058.3m

第 5 次拡張事業	第 5 次拡張事業 (1 回目変更)	第 5 次拡張事業 (2 回目変更)
平成13年(2001) 1 月19日	平成13年(2001)12月 7 日	平成15年(2003) 3 月31日
99,200人	99,200人	99,200人
55,500m ³	55,500m ³	55,500m ³
5590	5590	5590
平成13年(2001) 4 月 1 日	平成14年(2002) 4 月 1 日	平成15年(2003) 4 月 1 日
平成19年(2007) 3 月31日	平成19年(2007) 3 月31日	平成19年(2007) 3 月31日
9,020,400千円	—	—
※取水施設(上島) 取水井φ1,000×2井 取水井管φ200～φ300 1,100m 取水ポンプ 2台 ※導水施設 導水ポンプ 来原 11台 上島 3台 導水管φ200～φ600 ※浄水施設(来原) 浄水处理施設 着水井、急速かく拌池 急速ろ過池 1池 浄水池 1池 電気計装 1式 排水処理施設 排水池 1池 天日乾燥床 6池 管理棟 1棟	※送水施設 送水ポンプ 9台 送水管φ500 2,120m ※配水施設 配水池 新向山 2池 北山 2池 奥井谷 1池 大平 1池 配水管布設φ75～φ700 23,751m ※その他 流量計、緊急遮断弁 緊急貯留槽 ※用地取得 8,602㎡	※飲料水供給施設 (天王山地区) 天王山ポンプ所 1式 天王山加圧ポンプ所 1式 送・配水管φ25～φ75 715.5m (三坂地区) 三坂第1加圧ポンプ所 1式 三坂第2加圧ポンプ所 1式 配水管φ25～φ75 3,100.5m

第5次拡張事業 (3回目変更)	第6次拡張事業	第7次拡張事業
平成17年(2005)3月14日	平成21年(2009)4月1日	平成27年(2015)4月7日
140,590人	133,300人	138,600人
68,365 m ³	60,800 m ³	55,700 m ³
4860	4560	4020
平成17年(2005)3月22日	平成21年(2009)4月1日	平成27年(2015)4月7日
平成19年(2007)3月31日	平成31年(2019)3月31日	平成36年(2019)3月31日
—	7,850,000千円	11,485,000千円
水道事業の統合 (平田市水道事業、大社町 水道事業)	1. 上津浄水場の浄水方法 の変更 紫外線処理施設の新設 2. 県からの受水に伴う水 源種別の変更等 平田地域 檜山、東、伊野 久多見町、野石谷町 上岡田町、多久町 多久谷町 3. 未普及地域の解消 平田地域 鹿園寺地区、苅藻谷地区 大社地域 中山地区 4. 簡易水道事業の統合に 伴う給水区域の拡張 湖陵簡易水道、差海簡 易水道、地合簡易水道、 河下広域簡易水道	1. 簡易水道事業の統合に 伴う給水区域の拡張 乙立簡易水道 塩津簡易水道 美保簡易水道 東部統合簡易水道 須佐簡易水道 窪田簡易水道 多伎簡易水道 鷺浦猪目簡易水道 日御碕簡易水道 の9簡易水道事業と 多久谷畑飲料水供給施設 を廃止し上水道事業に統合

※第5次拡張事業(2回目変更)までは旧出雲市の拡張事業

5. 出雲市水道事業基本計画について

平成 17 年 3 月 22 日に出雲地区 2 市 4 町（出雲市、平田市、佐田町、多伎町、湖陵町、大社町）の新しい合併に伴い、出雲市水道事業も旧平田市、旧大社町が経営していた上水道事業を統合し、事業計画の一元化を図り、一つの水道事業としてスタートした。

これに伴い、平成 18 年度に上水道が抱える問題点等を整理し、将来の施設整備の目標となる「出雲市水道事業基本計画」を策定した。しかしながら、その後水道事業においては、水質面では化学物質の多様化や病原性微生物への対応、安全面では地震、渇水、水害、テロ、新型インフルエンザ等の多様な災害への対応、事業経営面では広域的管理による効率化、環境面では省エネルギー化の促進などの施策の強化が求められてきた。

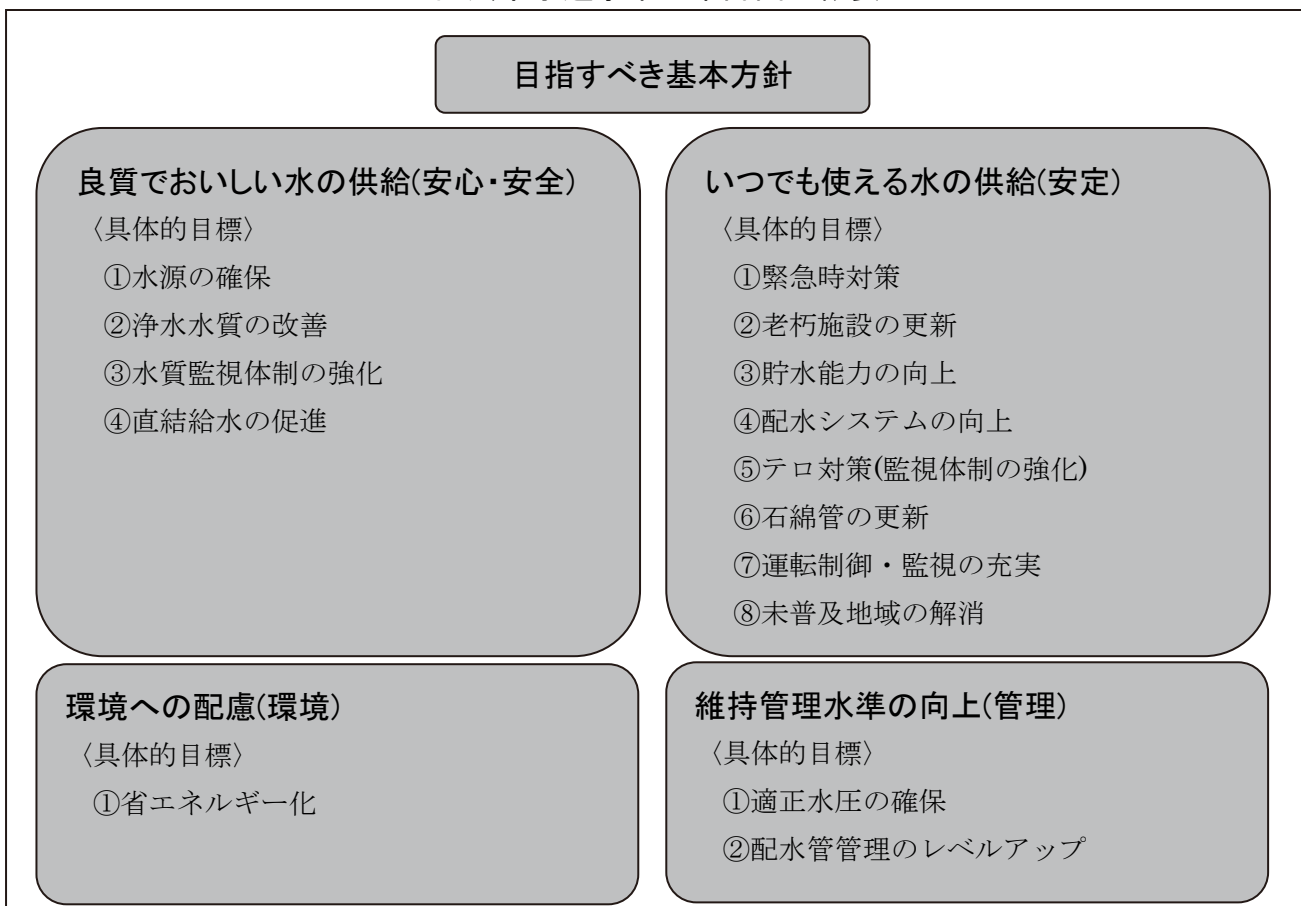
出雲市水道事業においても、「簡易水道事業の上水道事業への統合」、「少子高齢化等の影響による人口動態及び水需要の変化（減少傾向への変化）」、「クリプトスポリジウム対策としての紫外線照射処理の活用」、「未普及地区解消の促進」などの対策が必要となった。

これらへの取組を実現するため、出雲市水道事業ビジョンの策定に併せて、平成 20 年度に出雲市水道事業基本計画の見直しを行った。

今後、新たな出雲市水道事業ビジョンの策定に併せて、出雲市水道事業基本計画・実施計画の見直しを行う予定である。

現在の出雲市水道事業基本計画の概要は、次のとおりである。

出雲市水道事業基本計画の概要



【基本的事項】

(1) 計画年度

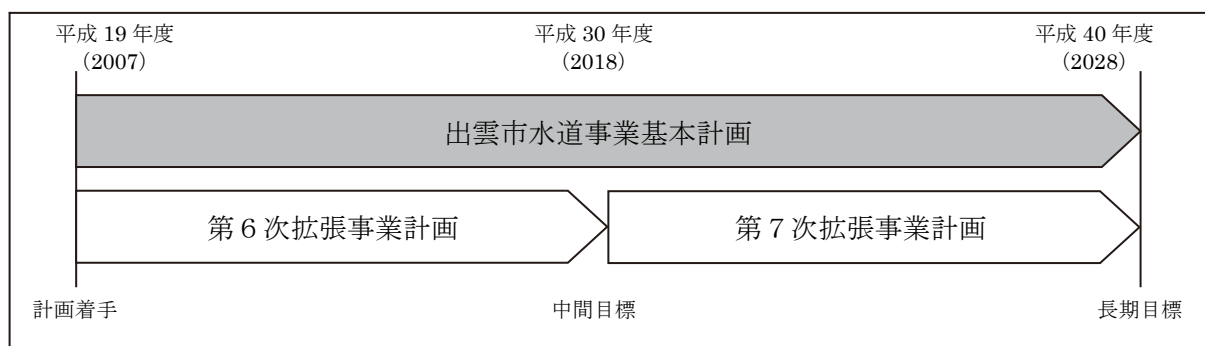
長期的視野にたって事業計画を策定する。

水道事業基本計画の計画期間は、平成 19 年度（2007）から平成 40 年度（2028）までとする。

長期目標年度……平成 40 年度（2028）

中期目標年度……平成 30 年度（2018）

【基本計画フロー】



(2) 計画給水人口、計画給水量

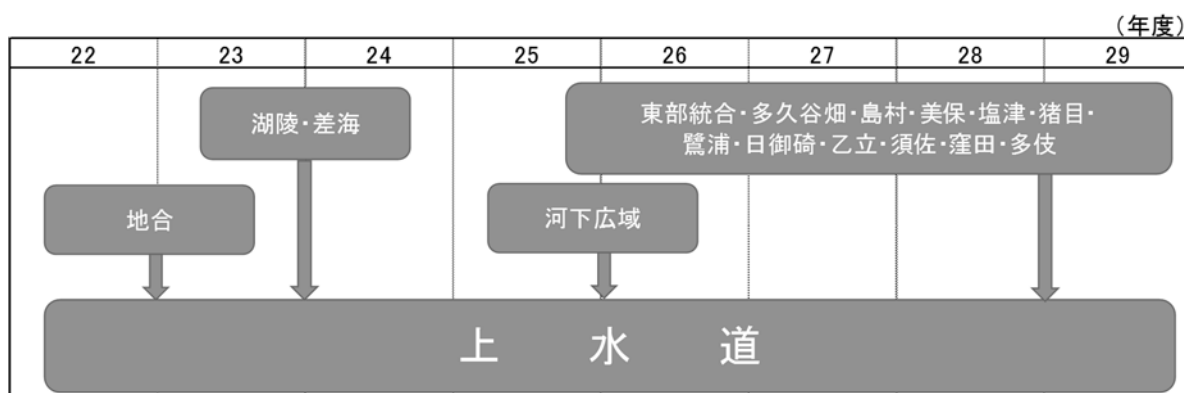
- ・人口は「コーホート要因法」で推計した。
- ・給水量は生活原単位※と給水人口を基に算出し、工場、業務用の推定水量を加算して決定した。
（※生活原単位とは生活(家事)用に使用される、1 人 1 日当たりの使用水量）

第 6 次拡張事業（基本計画）（目標年度：平成 30 年度）

①計画給水人口 143,700 人

②計画給水量 65,600 m³/日

(3) 平成 28 年度末までには、出雲市内の簡易水道事業を上水道事業に統合し、経営を一元化する。



(4) 旧平田市が計画していた県水道用水の受水は、平成 23 年度から順次開始

(5)事業内容について

第6次拡張事業の主な事業内容

政 策 目 標		具体的目標	事 業 内 容
1. 安心・安全	良質でおいしい水の供給	①水源の確保	・ 県水道用水供給事業からの受水
			・ 上島取水井の築造
			・ 上津、来原取水井の更新
		②浄水水質の改善	・ 上津浄水処理施設の新設
		③水質監視体制の強化	・ 無人浄水場の原水水質の監視 (バイオアッセイ)
2. 安定	いつでも使える水の供給	①緊急時対策	・ 施設の耐震化対策
			・ 停電時対策(灘分浄水場・パークタウン)
			・ 応急給水設備の設置(向山配水池、愛宕山配水池、浜山配水池)
			・ 緊急遮断弁の設置(七面山配水池、妙見山配水池、新向山配水池)
		②老朽施設の更新	・ 老朽管路の更新
			・ 老朽構造物の更新
		③貯水能力の向上	・ 配水池の増設(新向山配水池)
		④配水システムの向上	・ 幹線管路の二条化及び配水区域のブロック化
			・ 県受水のための施設整備
			・ 低水圧地区の解消(向山高台地区)
		⑤テロ対策 (監視体制の強化)	・ 監視機器の設置(灘分浄水場に人感センサー・監視カメラ設置)
			・ 基幹施設のフェンス改修
		⑥石綿管の更新	・ 平田地域の石綿管更新
		⑦運転制御・監視の充実	・ テレコン／テレメーターの整備
			・ 中央制御・監視設備の改造
3. 環境	環境への配慮	①省エネルギー化	・ 小規模ポンプ所等の統廃合 (平田地域・大社地域)
			・ 省エネルギー型設備の導入
4. 管理	維持管理水準の向上	①適正水圧の確保	・ 高水圧対策(朝山地区・稗原地区)
		②配水管管理のレベルアップ	・ 配水管の再整備(稗原地区・大社地域)

6. 給水区域(平成 28 年 3 月 31 日現在)

出雲地域

今市町、今市町北本町 1～5 丁目、今市町南本町、駅北町、駅南町 1～3 丁目、大津町の一部、大津新崎町 1～7 丁目、大津朝倉 1～3 丁目、枝大津町、上塩冶町の一部、塩冶町、天神町、塩冶有原町 1～6 丁目、塩冶町南町 1～5 丁目、塩冶神前 1～6 丁目、医大南町 1～3 丁目、塩冶原町 1～3 丁目、塩冶善行町、築山新町、古志町の一部、高松町、白枝町、松寄下町、下横町、浜町、矢野町、姫原町、姫原 1～4 丁目、小山町、大塚町、渡橋町、矢尾町の一部、日下町の一部、里方町、平野町、常松町、八島町、江田町、武志町、中野町、中野美保南 1～3 丁目、中野美保北 1～3 丁目、荻杼町、稲岡町、高岡町、東林木町の一部、西林木町の一部、上島町の一部、船津町の一部、西谷町、稗原町の一部、野尻町の一部、宇那手町の一部、朝山町の一部、馬木町の一部、馬木北町、所原町の一部、見々久町の一部、下古志町、芦渡町の一部、神門町、知井宮町の一部、西新町 1～3 丁目、東神西町の一部、西神西町の一部、神西沖町、大島町、神西新町、荒茅町、東園町、西園町、外園町、長浜町、平成町

平田地域

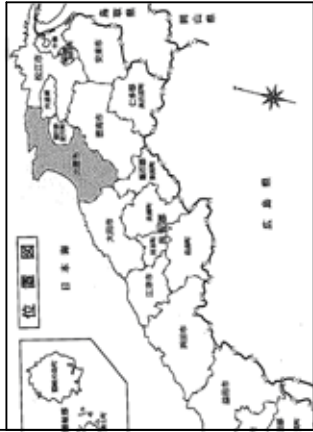
平田町、西平田町、灘分町、美談町の一部、西代町、国富町の一部、口宇賀町の一部、西郷町、万田町の一部、奥宇賀町の一部、本庄町の一部、東郷町、東福町の一部、久多見町の一部、野石谷町の一部、上岡田町の一部、岡田町、多久谷町の一部、多久町の一部、園町の一部、鹿園寺町の一部、小境町の一部、地合町の一部、美野町、野郷町の一部

湖陵地域

湖陵町畑村の一部、湖陵町常楽寺の一部、湖陵町二部の一部、湖陵町三部の一部、湖陵町大池の一部、湖陵町板津、湖陵町差海

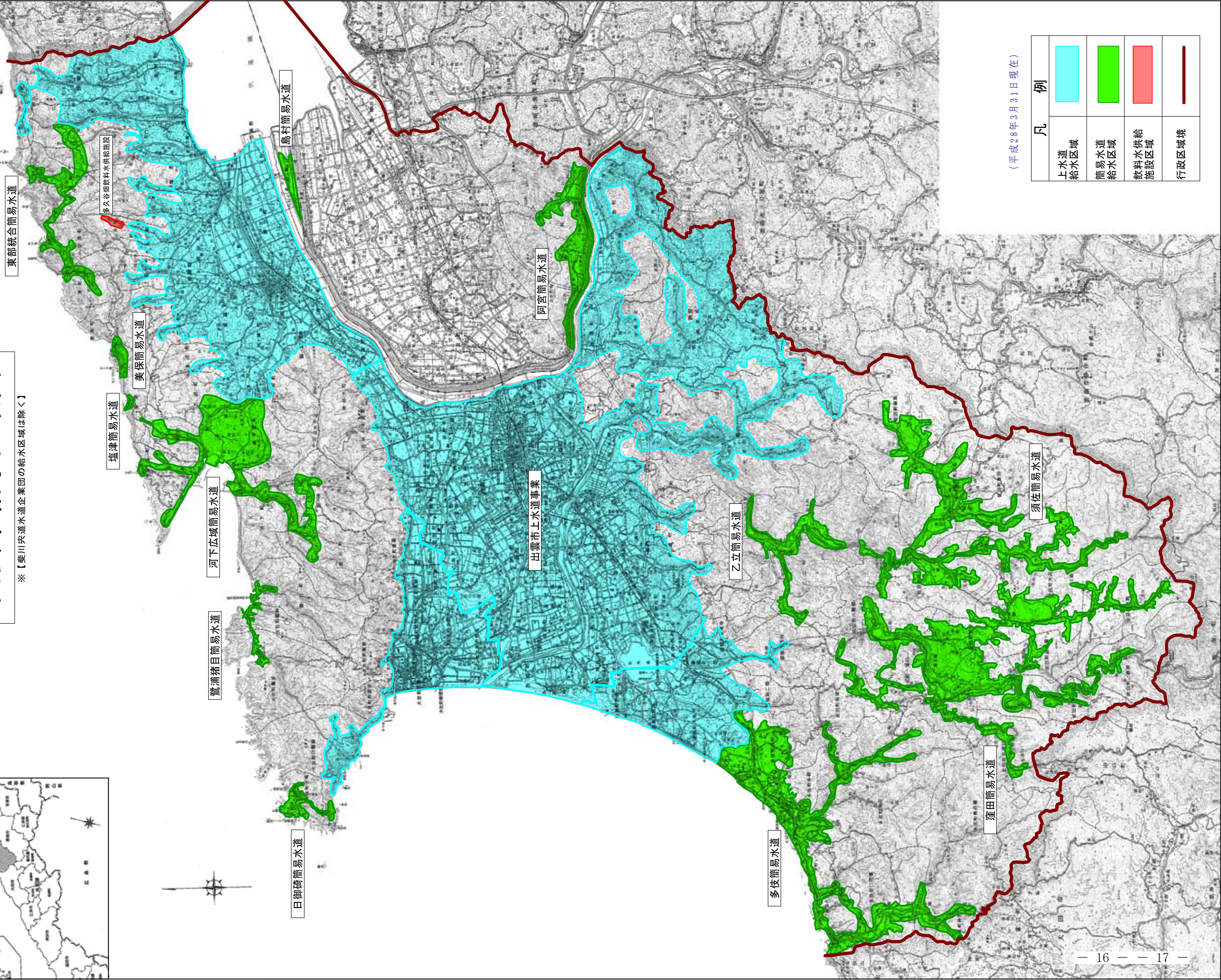
大社地域

大社町杵築東の一部、大社町杵築西、大社町杵築南、大社町杵築北の一部、大社町北荒木、大社町中荒木、大社町修理免の一部、大社町遙堪の一部、大社町入南、大社町菱根の一部、大社町日御碕の一部



出雲市給水区域図

※【斐川水道水道企業団の給水区域は除く】



(平成28年3月31日現在)

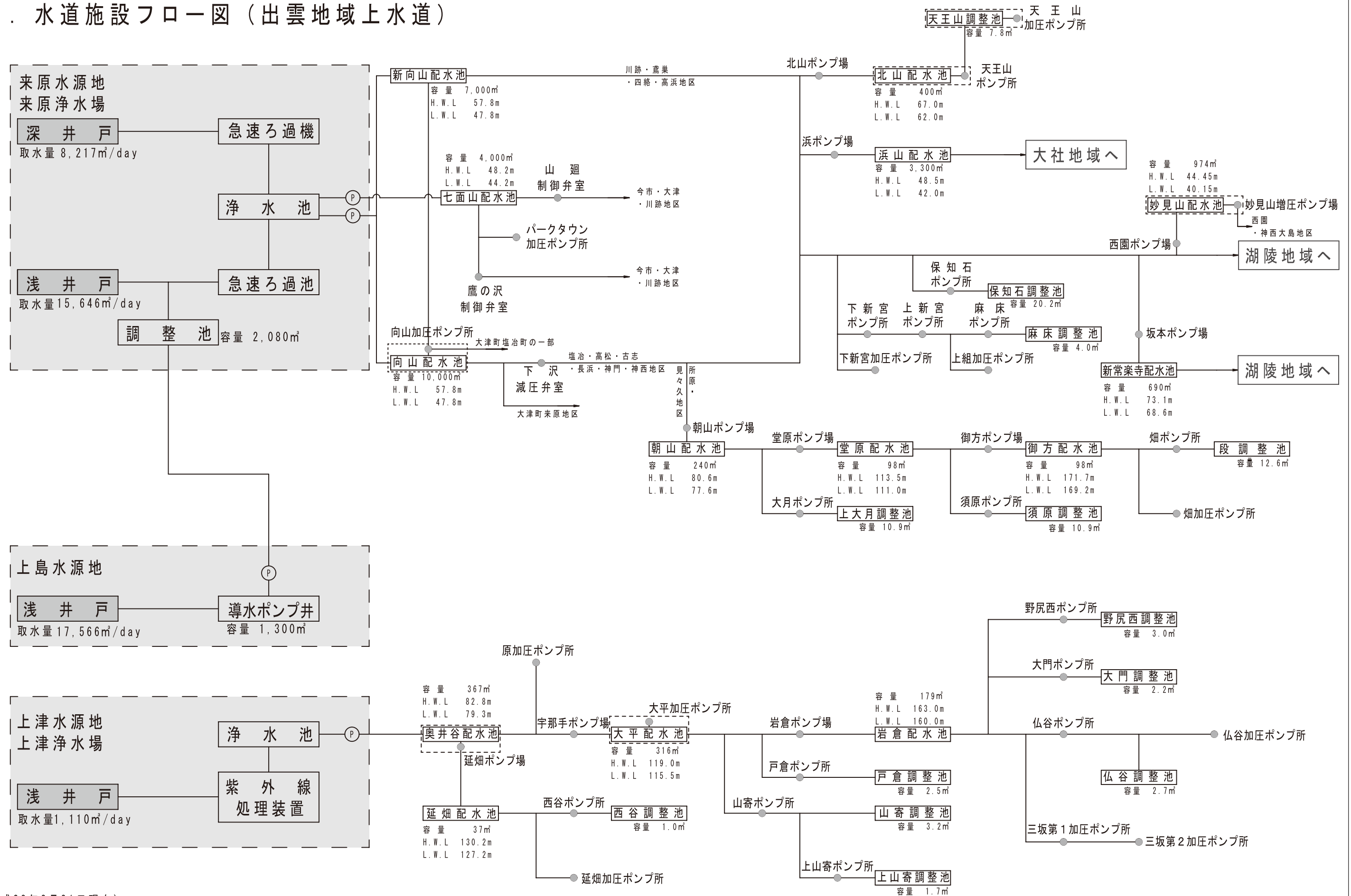
凡 例	
上水道 給水区域	
簡易水道 給水区域	
飲料水供給 施設区域	
行政区境界	

Ⅱ 施設の概要

カラカラで
蛇口に飛び込む 僕の口

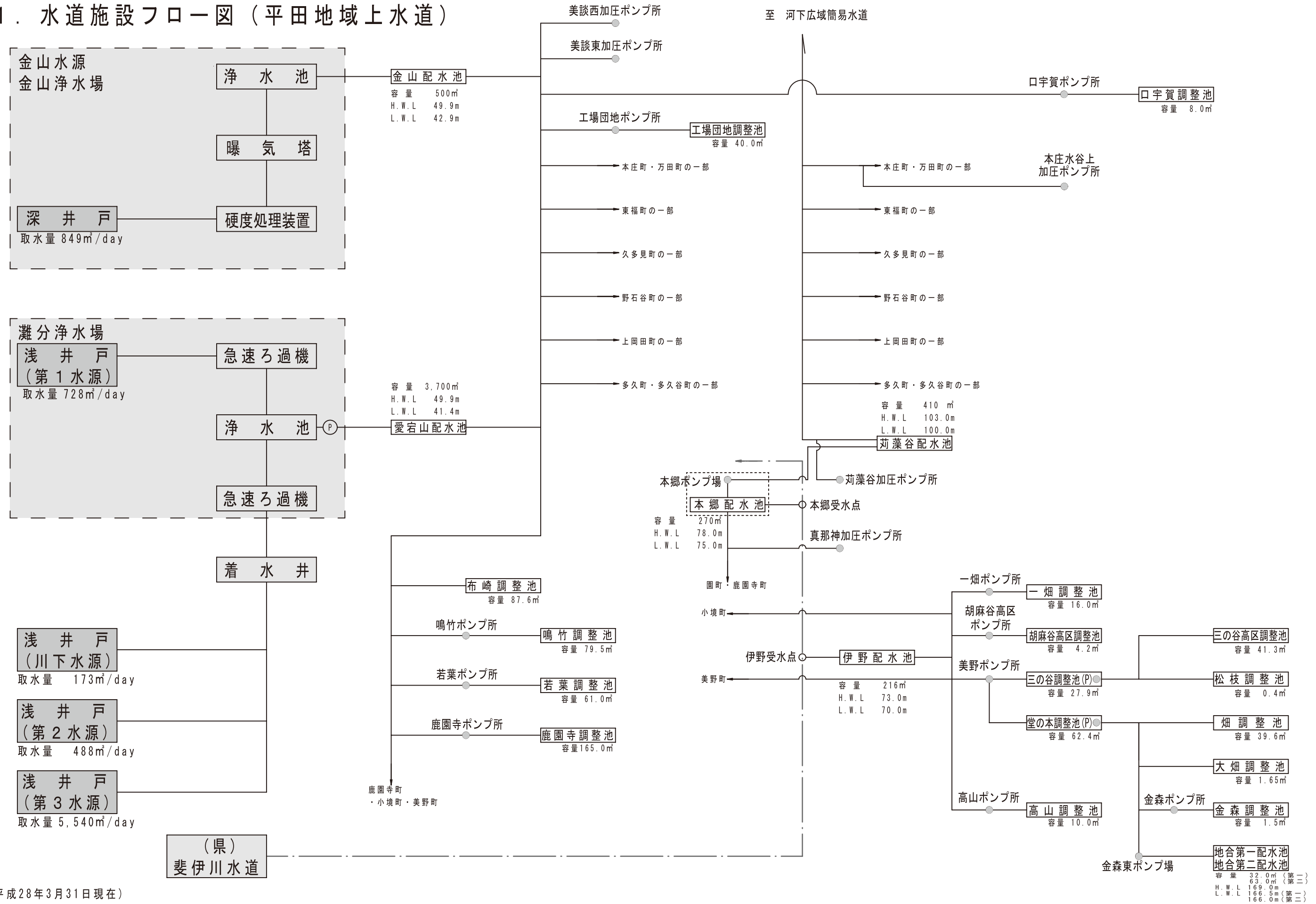
平成二十七年 度 第五十七回水道週間スローガン

1. 水道施設フロー図（出雲地域上水道）

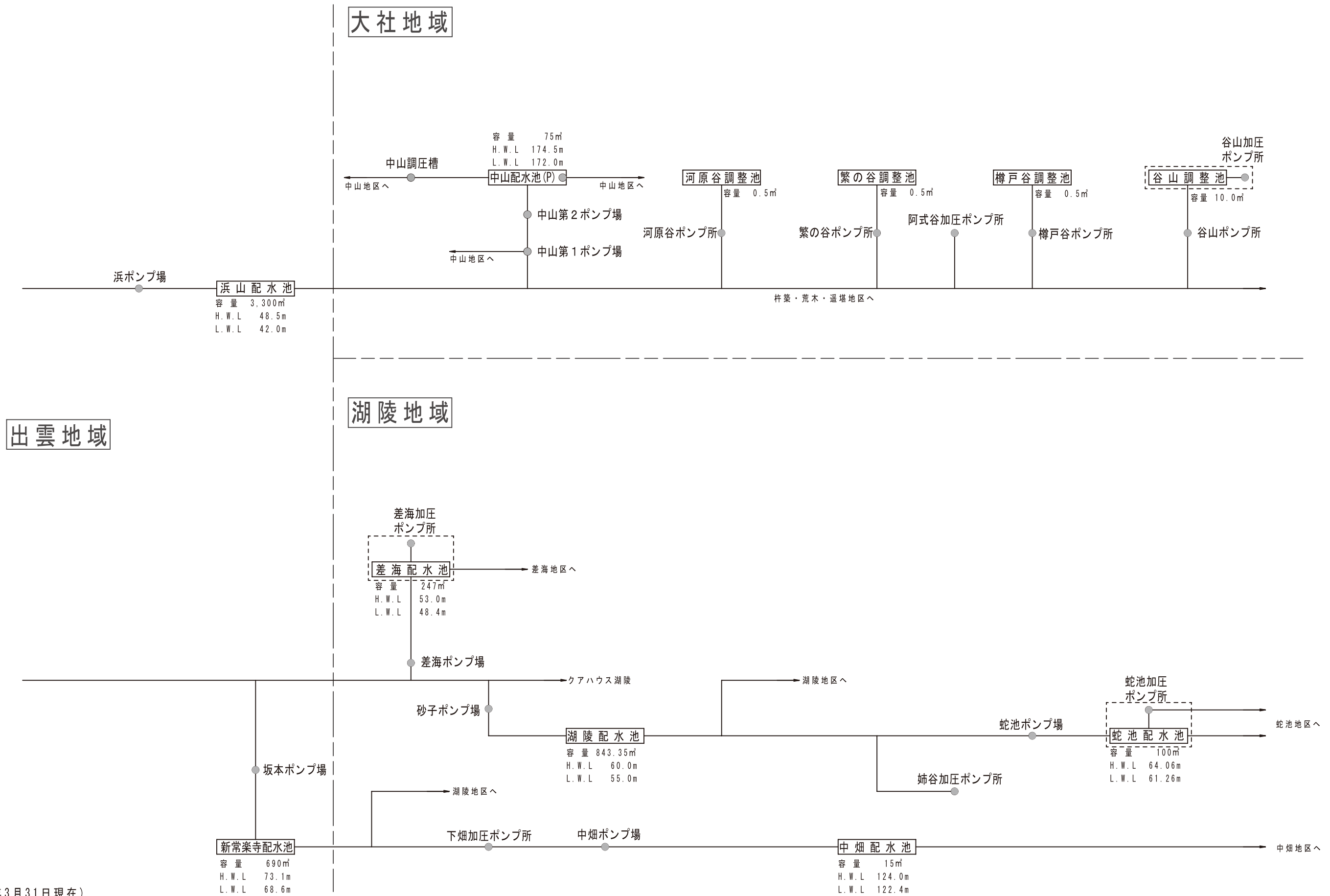


（平成28年3月31日現在）

1. 水道施設フロー図（平田地域上水道）



1. 水道施設フロー図（湖陵・大社地域上水道）



（平成28年3月31日現在）

出雲地域

– 24 –

施 設	施 設 概 要
(排 水 処 理 施 設)	R C造り 排水池、上澄水槽、排泥池、濃縮槽等一体構造 排水池 巾12.0m×長さ12.0m×水深3.0m×2池 V=864m ³ 上澄水槽 巾 4.0m×長さ24.5m×水深3.0m×1池 V=294m ³ 排泥池 巾 7.0m×長さ 7.0m×水深3.5m×2池 V=270m ³ 濃縮槽 巾 7.0m×長さ 7.0m×水深3.5m×1池 V=135m ³
(天 日 乾 燥 床)	R C造り 巾7.0m×長さ18.0m A=126m ² ×10池
上 島 水 源 地 (取 水 井)	浅井戸7井 内径(1.00m)×深さ(22.7m~26.3m)×7井 スクリーン L=6.0m~9.0m
(取 水 ポ ン プ) (ポ ン プ 井 : 導 水 用)	水中ポンプ φ150×3.48m ³ /分×30m×18.5~30kw 7台 P C造り 有効容量 V=1300m ³ 満水位標高 HWL+34m 有効水深 10m 低水位標高 LWL+24m
(導 水 ポ ン プ) (ポ ン プ 室) (自 家 発 電 機 設 備)	φ400×300 Q=14m ³ /分 H=27m P=90kw 2台 横軸両吸込渦巻きポンプ R C造り平屋建 巾15.0m×長さ16.0m=240m ² 自家発電機設備 625KvA
上 津 水 源 地 上 津 浄 水 場 (取 水 井) (取 水 ポ ン プ) (着 水 棟)	浅井戸1井 内径0.3m×深さ20m 水中ポンプ φ100×1.5m ³ /分×15m×7.5kw 1台 R C造り 着水井 内空1.0m×4.6m×高さ3.6m 1池 曝気槽 内空2.0m×4.6m×高さ3.8m 1池 混和槽 内空2.2m×4.6m×高さ3.8m 1池 原水槽 内空2.0m×4.6m×高さ2.8m 2池 原水ポンプ S U S製水中渦巻ポンプ φ80×1.13m ³ /分×25m×7.5kw 2台
(管 理 棟)	R C造り 薬注室 内空3.375m×6.810m 電気室 内空6.275m×6.810m 紫外線室 内空9.800m×5.820m 紫外線処理設備 内照式流水型 UVランプ×2本 Q=1,620m ³ /日 2台 ポンプ室 内空9.800m×6.810m 曝気ブローア ルーツ型ブローア φ100×5.65m ³ /分×50kPa×11.0kw 1台
(浄 水 池)	R C造り 3.0m×3.55m×2.95m=26.5m ³ 有効水深 2.50m
(送 水 ポ ン プ)	送水ポンプ 多段渦巻ポンプ Q=1.6m ³ /分 H=83m P=37kw 2台(内1台D. E付)
(ポ ン プ 室)	C B造り平屋建 巾4.55m×長さ8.25m 床面積A=37.54m ²

施 設	施 設 概 要
向 山 配 水 池	P C造り 内径35.7m 有効容量 10,000m ³ 満水位標高 HWL +57.8m 有効水深 10m 低水位標高 L W L +47.8m
向 山 加 圧 ポ ン プ 所 (向 山 配 水 池 内 に 設 置)	ポンプ室 R C造り 22.84m ² ポンプ井 向山配水池 加圧ポンプ S U S製 $\phi 50 \times 0.77\text{m}^3/\text{分} \times 29.2\text{m} \times 3.7\text{kw}$ 1組(3台)
新 向 山 配 水 池	P C造り 内径29.9m 有効容量 7,000m ³ 満水位標高 HWL +57.8m 有効水深 10m 低水位標高 L W L +47.8m
下 沢 減 圧 弁 室	電 気 室 R C造り 4.2×3.2 (内空) 配管ピット R C造り 4.0×3.0×2.3 (h) (内空) 弁 多孔可変式オリフィス弁 $\phi 600$
七 面 山 配 水 池	P C造り 内径18m 2池 有効容量 1,000m ³ ×2池=2,000m ³ 満水位標高 HWL +48.2m 有効水深 4.0m 低水位標高 L W L +44.2m R C造り 内径13.2m×20m×4.0m×2池 有効容量 2,000m ³ 満水位標高 HWL +48.2m 有効水深 4.0m 低水位標高 L W L +44.2m
山 廻 制 御 弁 室	電 気 室 R C造り3.7×2.7 (内空) 配管ピット R C造り3.5×2.5×2.1 (h) (内空) 弁 電動式立型バタフライ弁 (くし歯弁体) $\phi 300$
鷹 の 沢 制 御 弁 室	配管ピット R C造り 2.0×2.0×2.2 (h) (内空) 弁 電動式立型バタフライ弁 (くし歯弁体) $\phi 300$

施 設	施 設 概 要
奥 井 谷 配 水 池	R C 造り 4.0×6.10×2 池×有効水深3.5m 有効容量 171m ³ 満水位標高 HWL +82.8m 低水位標高 LWL +79.3m R C 造り 5.3×10.6×有効水深3.5m 有効容量 196m ³
西 園 ポ ン プ 場	ポンプ室 C B 造り 31.6m ² 送水ポンプ $\phi 125 \times 1.4\text{m}^3/\text{分} \times 50\text{m} \times 22\text{kw}$ 2 台 (内 1 台 D. E 付)
妙 見 山 配 水 池	P C 造り 内径12.0m 2 池 487m ³ 有効容量 974m ³ 満水位標高 HWL +44.45m 有効水深 4.3m 低水位標高 LWL +40.15m
浜 ポ ン プ 場	ポンプ室 R C 造り 60m ² 滅菌器 4 台 (次亜注入用) 自動塩素測定機 1 基 ポンプ井 R C 造り 13.8m×12.0m×有効水深3.0m 有効容量 480m ³ 満水位標高 HWL +2.2m 低水位標高 LWL -0.8m 送水ポンプ 多段渦巻ポンプ $\phi 150 \times 2.58\text{m}^3/\text{分} \times 61\text{m} \times 45\text{kw} \times 4$ 台 (内 1 台予備) 電気室 R C 造り 96m ² 自家用発電機 1 台 150kVA
浜 山 配 水 池	P C 造り 内径 25.5m 有効容量 3,300m ³ 満水位標高 HWL +48.5 有効水深 6.5m 低水位標高 LWL +42.0

施 設	施 設 概 要
坂 本 ポ ン プ 場	ポンプ室 S U S 製 ポンプ井・次亜室一体型 6.0×11.0×H2.5m(内6.0×7.0×H2.5m) ポンプ井 3.0×4.0×H2.5(有効水深H1.7)m 2池 有効容量 40.8m³ 満水位標高 H W L +11.7m 低水位標高 L W L +10.0m 送水ポンプ 横軸片吸込多段渦巻ポンプ φ80×640ℓ/分×70.1m×15kw 2台 次 亜 室 2.0×3.0×H2.5m (ポンプ室内) 次亜注入装置 液中バルブレス型 0.1～5.8mℓ/分×1.0Mpa×200V 2台 次亜貯槽 角型密閉槽 PVC製 100ℓ
新 常 楽 寺 配 水 池	本 体 S U S 製 7.0m×11.0m×H5.0(有効水深H4.5)m×2池 有効容量 690m³ 満水位標高 H W L +73.1m 低水位標高 L W L +68.6m 緊急遮断弁 φ200 手動復帰形ウエイト閉鎖式、流量感知 弁 室 R C 造り 2.0×1.9×H1.46m(内空)
北 山 ポ ン プ 場	ポンプ室 R C 造り 51.41m² ポンプ井 R C 造り 5.5×4.9×有効水深2.5m 67.4m³ 送水ポンプ 多段渦巻ポンプ φ100×1,110ℓ/分×69m 2台(内1台D. E付)
北 山 配 水 池	P C 造り 内径 10.3m 有効容量 400m³ 満水位標高 H W L +67.0m 有効水深 5.0m 低水位標高 L W L +62.0m
朝 山 ポ ン プ 場	ポンプ室 C B 造り 25.5m² ポンプ井 R C 造り 4.0×4.0×有効水深1.5m 24.0m³ 送水ポンプ 多段渦巻ポンプ φ65×360ℓ/分×72m 2台(内1台D. E付)
朝 山 配 水 池	R C 造り 5.0×8.0×有効水深3.0m×2池 240.0m³
堂 原 ポ ン プ 場	ポンプ室 C B 造り 20.6m² ポンプ井 R C 造り 2.9×2.9×有効水深1.0m 8.4m³ 送水ポンプ 多段渦巻ポンプ φ40×120ℓ/分×80m×5.5kw 2台 D. E7.45P S
堂 原 配 水 池	R C 造り 3.5×5.6×有効水深2.5m×2池 98.0m³

施 設	施 設 概 要
御 方 ポ ン プ 場	ポンプ室 C B 造り 26.8m² ポンプ井 R C 造り 2.4×2.4×有効水深1.05m 5.7m³ 送水ポンプ 多段渦巻ポンプ φ40×100ℓ/分×86m×5.5kw 2台 D. E 7.4 P S
御 方 配 水 池	R C 造り 3.5×5.6×有効水深2.5m×2池 98.0m³
宇 那 手 ポ ン プ 場	ポンプ室 C B 造り 4.15×6.25=25.9m² ポンプ井 S U S 製 4.0×2.0×有効水深2.0m 16m³ 送水ポンプ 多段渦巻ポンプ φ100×800ℓ/分×91.5m 22kw×2台(内D. E 付1台)
大 平 配 水 池	R C 造り 4.0×5.3×2池×有効水深3.5m 有効容量 148m³ 満水位標高 H W L + 119m 低水位標高 L W L + 115.5m R C 造り 4.4×5.5×2池×有効水深3.5m 有効容量 169m³ 満水位標高 H W L + 119m 低水位標高 L W L + 115.5m
岩 倉 ポ ン プ 場	ポンプ室 C B 造り 5.5×3.35-1.20×1.75=16.325m² ポンプ井 R C 造り 1.5×2.05×有効水深1.5m=4.6m³ 送水ポンプ 多段渦巻ポンプ φ65×315ℓ/分×98m 11kw×2台(内D. E 付1台)
岩 倉 配 水 池	R C 造り 4.0×6.75×有効水深3.0m 有効容量 81m³ 満水位標高 H W L + 163m 低水位標高 L W L + 160m R C 造り 4.9×6.7×有効水深3.0m 有効容量 98m³ 満水位標高 H W L + 163m 低水位標高 L W L + 160m
延 畑 ポ ン プ 場 (奥井谷配水池内に設置)	送水ポンプ 水中モーターポンプ φ50×125ℓ/分×77m×5.5kw 2台(内1台予備)
延 畑 配 水 池	R C 造り 3.0×4.2×有効水深3.0m 有効容量 37m³ 満水位標高 H W L + 130.2m 低水位標高 L W L + 127.2m

施 設	施 設 概 要
天 王 山 ポ ン プ 所 (北 山 配 水 池 内 に 設 置)	電 気 室 R C造り 7.7㎡ 送水ポンプ $\phi 40 \times 580$ /分 $\times 75$ m $\times 5.5$ kw
天 王 山 調 整 池	R C造り 2.55m $\times$ 2.55m $\times$ 有効水深1.2m 有効容量 7.8m ³ 満水位標高 HWL + 131.270m 低水位標高 L W L + 130.070m
保 知 石 ポ ン プ 所	ポンプ井 R C造り 3.0m $\times$ 3.0m $\times$ 有効水深2.25m 有効容量 20.2m ³ 満水位標高 HWL + 20.70m 低水位標高 L W L + 18.45m 送水ポンプ $\phi 40 \times 1000$ /分 $\times 87$ m $\times 5.5$ kw 2台
保 知 石 調 整 池	R C造り 3.0m $\times$ 3.0m $\times$ 有効水深2.25m 有効容量 20.2m ³ 満水位標高 HWL + 80.50m 低水位標高 L W L + 78.25m
大 月 ポ ン プ 所	電気室 C B造り 10.3㎡ ポンプ井 R C造り 2.4 $\times$ 2.4 $\times$ 有効水深1.0m 5.7m ³ 送水ポンプ 水中タービンポンプ $\phi 40 \times 1200$ /分 $\times 118$ m $\times 7.5$ kw 2台
上 大 月 調 整 池	R C造り 2.9 $\times$ 2.9 $\times$ 有効水深1.3m 10.9m ³
須 原 ポ ン プ 所	電 気 室 C B造り 10.3㎡ ポンプ井 R C造り 2.4 $\times$ 2.4 $\times$ 有効水深1.0m 5.7m ³ 送水ポンプ 水中タービンポンプ $\phi 40 \times 1400$ /分 $\times 105$ m $\times 5.5$ kw 2台
須 原 調 整 池	R C造り 2.9 $\times$ 2.9 $\times$ 有効水深1.3m 10.9m ³
畑 ポ ン プ 所	電 気 室 C B造り 10.3㎡ ポンプ井 R C造り 2.4 $\times$ 2.4 $\times$ 有効水深1.0m 5.7m ³ 送水ポンプ 水中タービンポンプ $\phi 40 \times 1000$ /分 $\times 105$ m $\times 5.5$ kw 2台
段 調 整 池	R C造り 2.9 $\times$ 2.9 $\times$ 有効水深1.5m 12.6m ³
山 寄 ポ ン プ 所	ポンプ井 R C造り 1.0m $\times$ 1.1m $\times$ 有効水深1.0m 有効容量 1.1m ³ 満水位標高 HWL + 83.6m 低水位標高 L W L + 82.6m 送水ポンプ 水中モーターポンプ $\phi 50 \times 2500$ /分 $\times 92$ m $\times 7.5$ kw 2台 (内 1 台予備)

施 設	施 設 概 要
山 寄 調 整 池	R C造り 1.5m×1.8m×有効水深1.2m 有効容量 3.2m ³ 満水位標高 HWL +161.3m 低水位標高 LWL +160.1m
上 山 寄 ポ ン プ 所	ポンプ井 R C造り 1.0m×1.0m×有効水深1.0m 有効容量 1.0m ³ 満水位標高 HWL +137.0m 低水位標高 LWL +136.0m 送水ポンプ 水中モーターポンプ φ50×125ℓ/分×77m×5.5kw 2台（内1台予備）
上 山 寄 調 整 池	R C造り 1.0m×1.7m×有効水深1.0m 有効容量 1.7m ³ 満水位標高 HWL +183.0m 低水位標高 LWL +182.0m
戸 倉 ポ ン プ 所	ポンプ井 R C造り 1.0m×1.0m×有効水深1.0m 有効容量 1.0m ³ 満水位標高 HWL +82.0m 低水位標高 LWL +81.0m 送水ポンプ 水中モーターポンプ φ40×87ℓ/分×85m×5.5kw 2台（内1台予備）
戸 倉 調 整 池	R C造り 1.4m×1.5m×有効水深1.2m 有効容量 2.5m ³ 満水位標高 HWL +153.7m 低水位標高 LWL +152.5m
野 尻 西 ポ ン プ 所	ポンプ井 R C造り 1.0m×1.0m×有効水深1.0m 有効容量 1.0m ³ 満水位標高 HWL +127.0m 低水位標高 LWL +126.0m 送水ポンプ 水中モーターポンプ φ50×125ℓ/分×77m×5.5kw 2台（内1台予備）
野 尻 西 調 整 池	R C造り 1.5m×1.7m×有効水深1.2m 有効容量 3.0m ³ 満水位標高 HWL +191.0m 低水位標高 LWL +189.8m

施 設	施 設 概 要		
大 門 ポ ン プ 所	ポンプ井	R C造り	1.0m×1.0m×有効水深1.0m 有効容量 1.0m ³ 満水位標高 HWL +125.5m 低水位標高 LWL +124.5m 送水ポンプ 水中モーターポンプ φ40×90ℓ/分×70m×3.7kw 2台（内1台予備）
大 門 調 整 池		R C造り	1.25m×1.5m×有効水深1.2m 有効容量 2.2m ³ 満水位標高 HWL +174.5m 低水位標高 LWL +173.3m
仏 谷 ポ ン プ 所	ポンプ井	R C造り	1.0m×1.0m×有効水深1.0m 有効容量 1.0m ³ 満水位標高 HWL +136.8m 低水位標高 LWL +135.8m 送水ポンプ 水中モーターポンプ φ40×94ℓ/分×135m×7.5kw 2台（内1台D. E付）
仏 谷 調 整 池		R C造り	1.5m×1.55m×有効水深1.2m 有効容量 2.7m ³ 満水位標高 HWL +241.2m 低水位標高 LWL +240.0m
西 谷 ポ ン プ 所	ポンプ井	R C造り	1.0m×1.0m×有効水深1.0m 有効容量 1.0m ³ 満水位標高 HWL +88.7m 低水位標高 LWL +87.7m 送水ポンプ 水中モーターポンプ φ50×125ℓ/分×77m×5.5kw 2台（内1台予備）
西 谷 調 整 池		R C造り	1.0m×1.0m×有効水深1.0m 有効容量 1.0m ³ 満水位標高 HWL +152.6m 低水位標高 LWL +151.4m
下 新 宮 ポ ン プ 所	滅菌電気室	C B造り	13.8m ²
	ポンプ井	R C造り	2.3m×2.3m×有効水深1.9m 有効容量 10.0m ³ 満水位標高 HWL +25.90m 低水位標高 LWL +24.00m 送水ポンプ 水中モーターポンプ φ40×165ℓ/分×76m×5.5kw 2台

施 設	施 設 概 要
上 新 宮 ポ ン プ 所	電 気 室 C B 造り 5.4㎡ ポンプ井 R C 造り 3.9m×3.9m×有効水深1.4m 有効容量 21.2m ³ 満水位標高 H W L + 77.25m 低水位標高 L W L + 75.85m 送水ポンプ 水中モーターポンプ φ 40×122ℓ/分×58m×3.7kw 2 台 φ 40×139ℓ/分×90m×5.5kw 2 台
麻 床 ポ ン プ 所	電 気 室 C B 造り 8.7㎡ ポンプ井 R C 造り 2.6m×2.6m×有効水深1.6m 有効容量 10.8m ³ 満水位標高 H W L + 128.15m 低水位標高 L W L + 126.55m 送水ポンプ 水中ポンプ φ 40×120ℓ/分×61m×3.7kw 2 台
麻 床 調 整 池	調整池 R C 造り 2.0m×2.0m×有効水深1.0m 有効容量 4.0m ³ 満水位標高 H W L + 182.60m 低水位標高 L W L + 181.60m
妙 見 山 増 圧 ポ ン プ 場 (妙見山配水池内に設置)	ポンプ室 R C 造り平屋建 5.34m×3.84m=20.5㎡ 増圧ポンプ 多段渦巻ポンプ 1.75m ³ /分×20m×3.7kw 5 台並列運転 (最大 4 台)
パークタウン加圧ポンプ所	電 気 室 16.3㎡ ポンプ井 R C 造り 5.85m×1.55m×有効水深2.1m (2 槽) 有効容量 38.1m ³ 満水位標高 H W L + 30.8m 低水位標高 L W L + 28.7m 加圧ポンプ φ 50×260ℓ/分×35m×3.7kw
天 王 山 加 圧 ポ ン プ 所 (天王山調整池内に設置)	電 気 室 R C 造り 7.7㎡ ポンプ井 天王山調整池 加圧ポンプ φ 32×85ℓ/分×54m×2.2kw

施 設	施 設 概 要
上 組 加 圧 ポ ン プ 所	電 気 室 C B造り 8.7㎡ ポンプ井 R C造り 2.6m×2.6m×有効水深1.1m 有効容量 7.4m ³ 満水位標高 H W L + 158.05m 低水位標高 L W L + 156.95m 加圧ポンプ 水中ポンプ圧力タンク付 φ 32×60ℓ/分×35m×1.5kw 2 台
下 新 宮 加 圧 ポ ン プ 所	電 気 室 3.3㎡ ポンプ井 R C造り 1.8m×2.0m×有効水深1.8m 加圧ポンプ φ 32×100ℓ/分×40m×1.1kw
畑 加 圧 ポ ン プ 所	電 気 室 R C造り 7.7㎡ ポンプ井 R C造り 2.55m×2.55m×有効水深1.1m 有効容量 7.15m ³ 満水位標高 H W L + 136.70m 低水位標高 L W L + 135.60m 加圧ポンプ φ 40×68ℓ/分×76m×5.5kw
原 加 圧 ポ ン プ 所	ポンプ室 R C造り 2.75×2.95=8.1㎡ ポンプ井 R C造り 1.8m×1.8m×有効水深0.9m 有効容量 2.9m ³ 満水位標高 H W L + 46.20 低水位標高 L W L + 45.30 加圧ポンプ φ 40×95.2ℓ/分×55m×3.7kw 2 台 (内 1 台予備)
大 平 加 圧 ポ ン プ 所 (大平配水池内に設置)	ポンプ井 大平配水池 加圧ポンプ φ 32×60ℓ/分×63m×2.2kw 2 台 (内 1 台予備)
仏 谷 加 圧 ポ ン プ 所	ポンプ井 R C造り 1.2m×1.2m×有効水深0.7m 有効容量 1.0m ³ 満水位標高 H W L + 212.0m 低水位標高 L W L + 211.3m 加圧ポンプ 水中モーターポンプ φ 32×60ℓ/分×63m×2.2kw 2 台 (内 1 台予備)
延 畑 加 圧 ポ ン プ 所	ポンプ井 R C造り 1.0m×1.0m×有効水深1.0m 有効容量 1.0m ³ 満水位標高 H W L + 107.9m 低水位標高 L W L + 106.9m 加圧ポンプ 水中モーターポンプ φ 40×68ℓ/分×3.5~5.0kg/cm×5.5kw 2 台 (内 1 台予備)

施 設	施 設 概 要
三坂第1加圧ポンプ所	電 気 室 R C造り 7.7m ² ポンプ井 R C造り 2.3m×2.3m×有効水深0.9m 有効容量 4.8m ³ 満水位標高 HWL + 128.95m 低水位標高 LWL + 128.05m 加圧ポンプ $\phi 25 \times 53\text{l/分} \times 62\text{m} \times 1.9\text{kw}$
三坂第2加圧ポンプ所	電 気 室 R C造り 13.9m ² ポンプ井 R C造り 2.3m×2.3m×有効水深1.2m 有効容量 6.3m ³ 満水位標高 HWL + 160.30m 低水位標高 LWL + 159.10m 加圧ポンプ $\phi 40 \times 96\text{l/分} \times 97\text{m} \times 5.5\text{kw}$

平田地域

施 設			施 設 概 要	
第 1	水 源		取水井	R C 造り 内径5.0m×深さ6.5m×1井
			集水埋管	有孔H P φ 600 L=24.3m
			取水ろ過ポンプ	陸上渦巻ポンプ φ 80×1.15m ³ /分×25m×7.5kw 2台
			取水ポンプ室	鉄骨造り48.19m ²
第 2	水 源		取水井	R C 造り 内径4.0m×深さ4.0m×1井
			取水ポンプ	水中渦巻ポンプ φ 80×950ℓ/分×20m×5.5kw 1台
第 3	水 源		取水井	R C 造り 内径3.0m×深さ5.0m×1井
			集水埋管	有孔H P φ 600 L=224m
				V スロットスクリーン φ 600 L=72m
			取水ポンプ	水中渦巻ポンプ φ 125×2.0m ³ /分×25m×11kw 1台
				水中渦巻ポンプ φ 150×3.0m ³ /分×25m×22kw 2台
			操作室	C B 造り 14.7m ²
			調整池	C B 造り 有効容量 11,860m ³
				満水位標高 HWL+3.0m
				低水位標高 LWL-0.5m
			自家発電設備	90KVA
川 下	水 源			外径φ 940 内径φ 300 L=3.52m
				陸用渦巻ポンプ φ 65×560ℓ/分×20m×3.7kw 1台
灘 分 浄 水 場				
(着 水 棟)			R C 造り 2 階建 延床面積 126.18m ²	
			1 階 着水井、流量計室 巾5.16×長4.16×深4.1 (有効3.05) 1 池	
			容量65.5m ³ 浄水量7,384m ³ /日	
			2 階 ポンプ室、薬注室	
(浄 水 池 棟)			R C 造り 2 階建 延床面積 466.46m ²	
			1 階 ポンプ室、浄水池、薬品混和槽、分配槽	
			巾6.30×長18.25×深6.3 (有効4.8) 2 池	
			容量1,075.5m ³ 浄水量9,034m ³ /日	
			2 階 水質計器室、電気室、薬注室、事務室、点検口室	
(ろ 過 施 設)			圧力式密閉型急速ろ過機 鋼板整	
			第 1 水源系 φ 3,300×2,500H×2 基 (除鉄・除マンガ)	
			処理水量 1,650m ³ /日	
			第 2、第 3、川下水源系 φ 3,300×2,500H×4 基 (多層ろ過)	
			処理水量 7,384m ³ /日	
			ろ過ポンプ 水中渦巻ポンプ φ 125×1.67m ³ /分×20m×11kw 4 台	
			逆洗ポンプ 陸用片吸込渦巻ポンプ φ 200×5.99m ³ /分×12m×22kw 2 台	
			表洗・排水ポンプ 陸用片吸込渦巻ポンプ φ 80×1.71m ³ /分×22m×11kw 2 台	

施 設	施 設 概 要
(薬 注 施 設)	第1水源系 (前塩素注入機) 液中ピストンポンプ 吐出量2.3～69.0cc/分 2台 (自動交互) (PAC注入機) 液中ピストンポンプ 吐出量0.69～69.0cc/分 3台 (2台:自動交互 1台:共通予備機) (アルカリ剤注入機) 液中ピストンポンプ 吐出量0.69～69.0cc/分 3台 (2台:自動交互 1台:共通予備機) 第2、第3、川下水源系 (前塩素注入機) 液中ピストンポンプ 吐出量1.59～159.0cc/分 2台 (自動交互) (PAC注入機) 液中ピストンポンプ 吐出量0.69～69.0cc/分 6台 (4台:自動交互 2台:共通予備機) (アルカリ剤注入機) 液中ピストンポンプ 吐出量0.69～69.0cc/分 6台 (4台:自動交互 2台:共通予備機) 浄水池棟 液中ピストンポンプ (後塩素注入機) 吐出量1.59～159.0cc/分 2台 (自動交互)
(排 水 処 理 施 設)	排水池 R C造り 巾9.0×長9.0×深1.4 (有効1.1) 2池 有効容量178.2m³/日 送泥ポンプ ボルテックス水中ポンプ φ65×340ℓ/分×12m×2.2kw 2台 濃縮槽 巾5.0×長5.0×深4.9 (有効3.0) 2槽 給泥量 493.2m³/日 汚泥引抜ポンプ 有効容量150m³/日 φ50×300ℓ/分×8m×1.5kw 2台 汚泥掻き寄機 レーキ径φ4,800 電動機0.2kw、減速機付 周速度0.185m/分 2台
(脱 水 機 棟)	鉄骨造り 2階建 延床面積 101.82m² 脱水機 無薬注長時間加圧脱水方式 自動フィルタープレス 1台 ケーキ量 148ℓ/日 打込ポンプ φ40×26ℓ/分×12MPa×2.2kw 1台 ベルトコンベアー 1基 ケーキホッパー 有効 2m³
(自 家 発 電 機 設 備)	400KvA
(管 理 棟)	R C造り 延床面積 171m ²
(事 務 所 ・ 倉 庫 棟)	鉄骨造り 延床面積 128m ²
(送 水 施 設)	送水ポンプ 陸用多段渦巻ポンプ φ150×2.775m ³ /分×60m×55kw 3台

施 設	施 設 概 要
金 山 水 源 金 山 浄 水 場 (取 水 井) (取 水 ポ ン プ) (取 水 ポ ン プ 室) (曝 気 装 置) (滅 菌 室 ・ 電 気 室) (硬 度 処 理 装 置) (滅 菌 機) (浄 水 池)	鋼管 内径0.225m×深さ60.1m 裸孔 内径0.165m×深さ191m 水中深井戸用ポンプ $\phi 100 \times 1.0 \text{m}^3/\text{分} \times 70 \text{m} \times 18.5 \text{kw}$ 1台 R C造り 3.8 m^2 脱炭酸塔 F R P製楕円筒型 $\phi 1000 \times H3000$ 1基 C B造り 12.6 m^2 希硫酸注入機 電磁式ダイヤフラムポンプ 吐出量0~25.0cc/分 2台 液中ピストンポンプ 吐出量0.5~15.0cc/分 2台 R C造り 50 m^3
愛 宕 山 配 水 池	旧 P C造り 内径19.5m 有効容量 2,500 m^3 満水位標高 H W L + 49.9m 有効水深 8.5m 低水位標高 L W L + 41.4m 新 (楕円) P C造り 短円方向10.0m×長円方向16.5m 有効容量 1,200 m^3 満水位標高 H W L + 49.9m 有効水深 8.5m 低水位標高 L W L + 41.4m
金 山 配 水 池	P C造り 内径9.6m 有効容量 500 m^3 満水位標高 H W L + 49.9m 有効水深 7.0m 低水位標高 L W L + 42.9m
本 郷 配 水 池	配水池 S U S製 5.0×9.0×有効水深3.0m×2池 有効容量 270 m^3 満水位標高 H W L + 78.0m 低水位標高 L W L + 75.0m 薬注室 R C造り 内空1.82×2.82 5.13 m^2 次亜注入装置 液中バルブレス型 0.08~8 $\text{m}^3/\text{分} \times 1.0 \text{Mpa} \times 100 \text{V}$ 2台 次亜貯槽 角型密閉槽 P V C製 50 ℓ
本 郷 ポ ン プ 場	ポンプ室 R C造り 4.82×5.32 25.64 m^2 電 気 室 R C造り 2.82×2.82 7.95 m^2 送水ポンプ 陸用多段渦巻ポンプ $\phi 100 \times 1420 \ell/\text{分} \times 44.0 \text{m} \times 18.5 \text{kw} \times 2$ 台

施 設	施 設 概 要
荇藻谷配水池	P C造り 内径13.6m 有効容量 410m ³ 満水位標高 H W L + 103.0m 有効水深 3.0m 低水位標高 L W L + 100.0m
荇藻谷加圧ポンプ所	加圧ポンプ 直結給水ブースターポンプ $\phi 32 \times 110 \ell / \text{分} \times 43.3 \text{m} \times 1.5 \text{k w}$ 1組(2台)
伊野配水池	配水池 S U S製 4.0×9.0×有効水深3.0m×2池 有効容量 216m ³ 満水位標高 H W L + 73.0m 低水位標高 L W L + 70.0m 電気薬注棟 R C造り 12.5m ² 電気室 2.5m×2.5m 薬注室 2.5m×2.5m 次亜注入装置 液中バルブレス型 $0.04 \sim 3.9 \text{m} \ell / \text{分} \times 1.0 \text{Mpa} \times 100 \text{V}$ 2台 次亜貯槽 角型密閉槽 PVC製 50ℓ
金森東ポンプ場	ポンプ室 S U S製 18m ² ポンプ井 S U S製 3.0×1.5×有効水深H1.5m 有効容量 6.75m ³ 満水位標高 H W L + 80.1m 低水位標高 L W L + 78.6m 送水ポンプ 多段渦巻きポンプ $\phi 40 \times 80 \ell / \text{分} \times 110 \text{m} \times 7.5 \text{k w} \times 2$ 台
地合第1配水池	R C製 2.0×3.2×有効水深2.5m×2池 有効容量 32m ³ 満水位標高 H W L + 169.0m 低水位標高 L W L + 166.5m
地合第2配水池	R C製 2.1×5.0×有効水深3.0m×2池 有効容量 63m ³ 満水位標高 H W L + 169.0m 低水位標高 L W L + 166.0m
布崎調整池	R C造り 内径6.0m 有効容量 87.6m ³ 満水位標高 H W L + 33.5m 有効水深 3.1m 低水位標高 L W L + 30.4m

施 設	施 設 概 要
口 宇 賀 ポ ン プ 所	ポンプ井 R C 造り 2.0×1.5×有効水深1.5m 有効容量 4.5m ³ 満水位標高 H W L + 22.3m 低水位標高 L W L + 20.8m 送水ポンプ 水中渦巻ポンプ $\phi 32 \times 600$ /分×63m×2.2kw×2台
口 宇 賀 調 整 池	R C 造り 2.0×2.0×有効水深2.0m 有効容量 8 m ³ 満水位標高 H W L + 55.7m 低水位標高 L W L + 53.7m
工 場 団 地 ポ ン プ 所	ポンプ室 C B 造り ポンプ井 R C 造り 2.7×3.8×有効水深1.5m 有効容量 15m ³ 満水位標高 H W L + 32.5m 低水位標高 L W L + 31.0m 送水ポンプ 水中渦巻ポンプ S U S $\phi 40 \times 2700$ /分×43.5m×3.7kw×2台
工 場 団 地 調 整 池	R C 造り 4.0×5.0×有効水深2.0m 有効容量 40m ³ 満水位標高 H W L + 58.5m 低水位標高 L W L + 56.5m
鳴 竹 ポ ン プ 所	ポンプ室 C B 造り ポンプ井 R C 造り 1.8×2.5×有効水深1.5m 有効容量 6.75m ³ 満水位標高 H W L + 26.7m 低水位標高 L W L + 25.2m 送水ポンプ 水中渦巻ポンプ S U S $\phi 32 \times 1000$ /分×50m×2.2kw×2台
鳴 竹 調 整 池	R C 造り 3.75×5.3×有効水深2.0m 2池 有効容量 39.75m ³ ×2池=79.5m ³ 満水位標高 H W L + 60.6m 低水位標高 L W L + 58.6m
若 葉 ポ ン プ 所	ポンプ室 C B 造り ポンプ井 R C 造り 1.8×1.8×有効水深1.5m 有効容量 5m ³ 満水位標高 H W L + 19.5m 低水位標高 L W L + 18.0m 送水ポンプ 水中渦巻ポンプ S U S $\phi 32 \times 1250$ /分×51m×2.2kw×2台

施 設	施 設 概 要
若 葉 調 整 池	R C 造り 1.4×3.6×有効水深2.0m R C 造り 3.5×4.5×有効水深2.0m R C 造り 2.3×4.5×有効水深2.0m 有効容量 $10\text{m}^3 + 31\text{m}^3 + 20\text{m}^3 = 61\text{m}^3$ 満水位標高 HWL + 52.0m 低水位標高 LWL + 50.0m
鹿 園 寺 ポ ン プ 所	ポンプ室 C B 造り ポンプ井 R C 造り 4.0×5.0×有効水深2.0m 有効容量 40m^3 満水位標高 HWL + 13.5m 低水位標高 LWL + 11.5m 送水ポンプ 水中渦巻ポンプ SUS $\phi 65 \times 500\text{l}/\text{分} \times 55\text{m} \times 7.5\text{kw} \times 2$ 台
鹿 園 寺 調 整 池	R C 造り 10.0×4.35×有効水深3.8m 有効容量 165m^3 満水位標高 HWL + 60.3m 低水位標高 LWL + 56.5m
一 畑 ポ ン プ 所	ポンプ室 C B 造り ポンプ井 R C 造り 2.8×4.0×有効水深1.8m 有効容量 20m^3 満水位標高 HWL + 52.0m 低水位標高 LWL + 50.2m 送水ポンプ 水中渦巻ポンプ SUS $\phi 40 \times 90\text{l}/\text{分} \times 72\text{m} \times 3.7\text{kw} \times 2$ 台
一 畑 調 整 池	R C 造り 2.8×3.8×有効水深1.5m 有効容量 16m^3 満水位標高 HWL + 110.0m 低水位標高 LWL + 108.5m
胡 麻 谷 高 区 ポ ン プ 所	ポンプ室 C B 造り ポンプ井 R C 造り 1.8×3.0×有効水深1.3m 有効容量 7m^3 満水位標高 HWL + 57.0m 低水位標高 LWL + 55.7m 送水ポンプ 水中渦巻ポンプ SUS $\phi 32 \times 60\text{l}/\text{分} \times 65\text{m} \times 2.2\text{kw} \times 2$ 台
胡 麻 谷 高 区 調 整 池	R C 造り 1.8×1.8×有効水深1.3m 有効容量 4.2m^3 満水位標高 HWL + 101.0m 低水位標高 LWL + 99.7m

施 設	施 設 概 要		
高 山 ポ ン プ 所	ポンプ室	C B 造り	
	ポンプ井	R C 造り	2.0×3.0×有効水深1.7m
	有効容量	10m ³	
	満水位標高	HW L + 45.0m	
	低水位標高	L W L + 43.3m	
	送水ポンプ	水中渦巻ポンプ S U S	φ 40×1800/分×59.5m×3.7kw×2台
高 山 調 整 池	R C 造り	2.0×3.0×有効水深1.7m	
	有効容量	10m ³	
	満水位標高	HW L + 99.5m	
	低水位標高	L W L + 97.8m	
美 野 ポ ン プ 所	ポンプ室	C B 造り	24.69m ²
	ポンプ井	R C 造り	2.0×5.25×有効水深2.1m
	有効容量	22.05m ³	
	満水位標高	HW L + 42.7m	
	低水位標高	L W L + 40.6m	
	送水ポンプ	(堂の本系) 陸用堅型多段渦巻ポンプ (三の谷系) 陸用堅型多段渦巻ポンプ	φ 40×1000/分×91.1m×3.7kw 2台 φ 32×480/分×76m×2.2kw 2台
三 の 谷 調 整 池 (ポ ン プ 所)	調 整 池	R C 造り	5.0×3.6×有効水深1.55m
		有効容量	27.9m ³
		満水位標高	HW L + 104.0m
		低水位標高	L W L + 102.45m
	ポンプ室	C B 造り	3.61m ²
	送水ポンプ	陸用カスケートポンプ	φ 32×22.50/分×45m×1.5kw×2台
堂 の 本 調 整 池 (ポ ン プ 所)	調 整 池	R C 造り	5.0×6.4×有効水深1.95m
		有効容量	62.4m ³
		満水位標高	HW L + 104.5m
		低水位標高	L W L + 102.55m
	ポンプ室	C B 造り	3.61m ²
	送水ポンプ	水中渦巻ポンプ S U S	φ 32×600/分×65m×2.2kw×2台
三 の 谷 高 区 調 整 池	R C 造り	5.1×4.5×有効水深1.8m	
	有効容量	41.3m ³	
	満水位標高	HW L + 144.0m	
	低水位標高	L W L + 142.2m	

施 設	施 設 概 要
松 枝 調 整 池	耐震型円形 F R P 造り $\phi 840 \times 1,000 \times$ 有効水深 0.375m 有効容量 0.4m ³ 満水位標高 H W L + 121.814m 低水位標高 L W L + 121.139m
畑 調 整 池	R C 造り $5.5 \times 4.0 \times$ 有効水深 1.8m 有効容量 39.6m ³ 満水位標高 H W L + 166.5m 低水位標高 L W L + 164.7m
大 畑 調 整 池	R C 造り $1.5 \times 1.0 \times$ 有効水深 1.1m 有効容量 1.65m ³ 満水位標高 H W L + 122.9m 低水位標高 L W L + 121.8m
金 森 ポ ン プ 所	ポンプ室 C B 造り 1.95m ² ポンプ井 R C 造り $1.64 \times 2.0 \times$ 有効水深 0.68m 有効容量 2.23m ³ 満水位標高 H W L + 80.4m 低水位標高 L W L + 79.72m 送水ポンプ 陸用カスケートポンプ $\phi 32 \times 15.30 / \text{分} \times 65 \text{m} \times 1.5 \text{kw} \times 2$ 台
金 森 調 整 池	耐震型円形 F R P 造り $\phi 1,400 \times 1,274 \times$ 有効水深 0.781m 有効容量 1.5m ³ 満水位標高 H W L + 143.165m 低水位標高 L W L + 142.384m
美 談 西 加 圧 ポ ン プ 所	ポンプ井 F R P 製 5m ³ 加圧ポンプ 受水槽一体形自動給水ユニット $\phi 40 \times 1150 / \text{分} \times 58.8 \text{m} \times 3.7 \text{kw}$ 1 組 (2 台)
美 談 東 加 圧 ポ ン プ 所	ポンプ井 F R P 製 4m ³ 加圧ポンプ 受水槽一体形自動給水ユニット $\phi 40 \times 900 / \text{分} \times 55.23 \text{m} \times 3.7 \text{kw}$ 1 組 (2 台)
本 庄 水 谷 上 加 圧 ポ ン プ 所	ポンプ井 F R P 製 5m ³ 加圧ポンプ 受水槽一体形自動給水ユニット $\phi 40 \times 780 / \text{分} \times 71.8 \text{m} \times 5.5 \text{kw}$ 1 組 (2 台)
真 那 神 加 圧 ポ ン プ 所	加圧ポンプ 直結給水ブースターポンプ $\phi 25 \times 300 / \text{分} \times 61 \text{m} \times 0.75 \text{k w}$ 1 組 (2 台)

湖陵地域

施 設	施 設 概 要
差 海 ポ ン プ 場	ポンプ室 R C 造り 30m² ポンプ井 R C 造り 2.2m×4.2m×有効水深H1.5m 有効容量 13.6m³ 満水位標高 HW L + 4.00m 低水位標高 L W L + 2.50m 送水ポンプ 水中渦巻ポンプ SUS製 φ 50×280ℓ/分×63.0m×5.5kw 2 台 次亜注入装置 34cc/分×200V×0.1kw 2 台 (200L槽)
差 海 配 水 池	P C 造り 内径8.6m×有効水深H4.6m 有効容量 247m³ 満水位標高 HW L + 53.0m 低水位標高 L W L + 48.4m
差 海 加 圧 ポ ン プ 所 (差海配水池下段に設置)	ポンプ井 差海配水池 加圧ポンプ 自動給水ポンプユニット φ 40×220ℓ/分×33.0m×2.2kw 1 組(2台)
砂 子 ポ ン プ 場	ポンプ室 C B 造り 29.6m² ポンプ井 R C 造り 4.7m×6.2m×有効水深H1.7m 有効容量 49.5m³ 満水位標高 HW L + 3.85m 低水位標高 L W L + 2.15m 送水ポンプ 水中渦巻ポンプ SUS製 φ 80×820ℓ/分×63.0m×15.0kw 2 台 次亜注入装置 38cc/分×200V×0.1kw 2 台 (200L槽) 自家発電設備 45KVA
湖 陵 配 水 池	P C 造り 内径14.7m×有効水深H5.0m 有効容量 843.35m³ 満水位標高 HW L + 60.0m 低水位標高 L W L + 55.0m
姉 谷 加 圧 ポ ン プ 所	ポンプ室 C B 造り 6.76m² ポンプ井 R C 造り 2.2m×2.3m×有効水深H1.2m 有効容量 6m³ 満水位標高 HW L + 30.00m 低水位標高 L W L + 28.8m 加圧ポンプ 自動給水ポンプユニット φ 32×100ℓ/分×54.0m×2.2kw 1 組(2台) 自家発電設備 13KVA(手動)

施 設	施 設 概 要
蛇 池 ポ ン プ 場	ポンプ室 SUS製15m² ポンプ井 SUS製 1.5m×2.5m×有効水深H1.0m 有効容量 3.75m³ 満水位標高 HWL+40.255m 低水位標高 LWL+39.255m 送水ポンプ 水中渦巻ポンプ SUS製 $\phi 32 \times 60\ell/\text{分} \times 35.0\text{m} \times 1.5\text{kw}$ 2台 次亜注入装置 35cc/分×200V×0.03kw 2台 (50L槽)
蛇 池 配 水 池	SUS製 6.0m×6.0m×有効水深H2.8m 有効容量 100m³ 満水位標高 HWL+64.055m 低水位標高 LWL+61.255m
蛇 池 加 圧 ポ ン プ 所 (蛇池配水池内に設置)	ポンプ室 RC造り7.5m² ポンプ井 蛇池配水池 加圧ポンプ 自動給水ポンプユニット $\phi 25 \times 70\ell/\text{分} \times 30.0\text{m} \times 0.75\text{kw}$ 1組(2台)
下 畑 加 圧 ポ ン プ 所	ポンプ室 CB造り17.39m² ポンプ井 FRP製 2.5m×1.5m×有効水深H1.0m 有効容量 3.8m³ 満水位標高 HWL+30.70m 低水位標高 LWL+29.7m 加圧ポンプ 自動給水ポンプユニット $\phi 40 \times 142\ell/\text{分} \times 40.0\text{m} \times 2.2\text{kw}$ 1組(2台)
中 畑 ポ ン プ 場	ポンプ室 RC造り25m² ポンプ井 R造り 2.3m×2.3m×有効水深H1.0m 有効容量 5.3m³ 満水位標高 HWL+54.2m 低水位標高 LWL+53.2m 送水ポンプ 水中渦巻ポンプ SUS製 $\phi 40 \times 80\ell/\text{分} \times 80.0\text{m} \times 5.5\text{kw}$ 2台 次亜注入装置 82cc/分×200V×0.1kw 1台 (100L槽)
中 畑 配 水 池	RC造り 3.2m×3.2m×有効水深H1.6m 有効容量 16.4m³ 満水位標高 HWL+124.0m 低水位標高 LWL+122.4m

施 設	施 設 概 要		
中 山 第 1 ポ ン プ 場	ポンプ井	S U S 製	2.0×2.0×有効水深3.0m×2池
		有効容量	24m ³
		満水位標高	H W L + 23.95m
		低水位標高	L W L + 20.95m
	ポンプ室	S U S 製	
		送水ポンプ	立型ステンレス製多段ポンプ φ40×0.15 m ³ /分×110m×5.5kw×2台
		加圧ポンプ	直結給水ブースターポンプ 32A×0.08 m ³ /分×15m×0.4kw 1組(2台)
	次亜注入機室	S U S 製	2.5m×1.5m 3.75m ²
		次亜注入装置	液中バルブレス型 0.08~7.8m ³ /分×1.0Mpa×200V 2台
		次亜貯槽	角型密閉槽 PVC製 50ℓ
中 山 第 2 ポ ン プ 場	ポンプ井	S U S 製	1.0×2.0×有効水深2.5m×2池
		有効容量	10.0m ³
		満水位標高	H W L + 114.0m
		低水位標高	L W L + 111.5m
	ポンプ室	S U S 製	4.0m×5.0m 20.0m ² 送水ポンプ 立型ステンレス製多段ポンプ φ40×0.15 m ³ /分×75m×4.0kw×2台
中 山 配 水 池	配 水 池	S U S 製	2.5×6.0×有効水深2.5m×2池
		有効容量	75m ³
		満水位標高	H W L + 174.5m
		低水位標高	L W L + 172.5m
	加圧ポンプ室	S U S 製	6.0m×2.0m 12.0m ² 加圧ポンプ 直結給水ブースターポンプ 32A×0.04m ³ /分×50m×1.1k w 1組(2台)
中 山 調 圧 槽	調 圧 槽	S U S 製	2.0×1.5×有効水深1.5m×2池
		有効容量	9.0m ³
		満水位標高	H W L + 96.1m
		低水位標高	L W L + 94.6m
河 原 谷 ポ ン プ 所	水位調整弁室	レジコン製柵	
	木造造り	4.3m ²	
	ポンプ井	F P R 製	0.5m ³
河 原 谷 調 整 池	送水ポンプ	受水槽付きポンプ	φ32×500/分×43m×2.2kw
	F R P 製	有効容量	0.5m ³
	満水位標高	H W L + 49.00m	

施 設	施 設 概 要
繁 の 谷 ポ ン プ 所	木造造り 4.3㎡ ポンプ井 F P R 製 容量0.5m ³ 送水ポンプ 受水槽付きポンプ $\phi 32 \times 50\text{ℓ/分} \times 43\text{m} \times 2.2\text{kw}$
繁 の 谷 調 整 池	F R P 製 有効容量 0.5m ³ 満水位標高 HW L + 49.00m
樽 戸 谷 ポ ン プ 所	木造造り 4.3㎡ ポンプ井 F P R 製 容量0.5m ³ 送水ポンプ 受水槽付きポンプ $\phi 32 \times 50\text{ℓ/分} \times 43\text{m} \times 2.2\text{kw}$
樽 戸 谷 調 整 池	F R P 製 有効容量 0.5m ³ 満水位標高 HW L + 51.00m
谷 山 ポ ン プ 所	C B 造り 14.8㎡ ポンプ井 F R P 製 1.2m ³ (有効) 送水ポンプ $\phi 40 \times 100\text{ℓ/分} \times 90\text{m} \times 4\text{kw}$ 2台
谷 山 調 整 池	F R P 製 有効容量 10m ³ 満水位標高 HW L + 93.00m
阿 式 谷 加 圧 ポ ン プ 所	木造造り 3.9㎡ 加圧ポンプ 圧力タンク付きポンプ $\phi 40 \times 100\text{ℓ/分} \times 41\text{m} \times 2.2\text{kw}$
谷 山 加 圧 ポ ン プ 所 (谷 山 調 整 池 内 に 設 置)	ポンプ井 谷山調整池 加圧ポンプ $\phi 30 \times 150\text{ℓ/分} \times 18.5\text{m} \times 0.75\text{kw}$ 1組(2台)

3. 配水管等の布設状況

平成28年（2016） 3月31日現在

（1）管種別延長並びに耐震管延長及び耐震化率

（単位：m）

管 種	導 水 管	送 水 管	配 水 管	合 計
鋳 鉄 管	10,918.3	34,050.0	435,217.0	480,185.3
ビ ニ ー ル 管	2,910.0	846.6	908,322.9	912,079.5
鋼 管	226.1	828.2	9,132.2	10,186.5
ポリエチレン管	0.0	2,143.2	44,515.0	46,658.2
合 計	14,054.4	37,868.0	1,397,187.1	1,449,109.5
耐 震 管 延 長	2,755.8	7,381.5	112,686.6	
耐 震 化 率	19.6%	19.5%	8.1%	

（2）配水管延長

（単位：m）

年 度 口 径	平成23 (2011)	平成24 (2012)	平成25 (2013)	平成26 (2014)	平成27 (2015)
50 mm 以下	468,810.7	641,523.5	650,333.8	634,638.3	647,707.3
65 mm	200.7	0.0	0.0	0.0	0.0
75 mm	216,076.5	232,350.6	232,594.5	236,941.7	235,387.5
100 mm	254,976.3	277,139.3	273,500.0	277,326.9	271,369.4
125 mm	296.1	131.5	131.5	131.5	131.5
150 mm	117,382.5	126,938.4	127,297.7	131,136.6	126,158.2
200 mm	49,444.5	57,273.1	52,496.1	55,191.0	56,110.4
250 mm	21,814.3	23,289.4	23,538.8	23,633.0	23,001.6
300 mm	9,064.1	9,478.8	11,007.8	11,410.8	11,671.1
350 mm	7,757.5	8,099.0	7,150.6	6,314.8	7,867.9
400 mm	5,445.0	5,600.9	5,600.9	5,654.7	5,753.6
450 mm	3,240.8	2,933.3	3,005.1	3,345.1	3,345.1
500 mm	2,257.8	1,673.7	1,674.0	2,212.0	2,232.9
600 mm	279.8	110.0	110.0	1,309.3	1,325.2
700 mm	4,977.9	4,767.2	4,767.2	4,971.0	5,125.4
合 計	1,162,024.5	1,391,308.7	1,393,208.0	1,394,216.7	1,397,187.1

(3) 導水管延長

(単位：m)

年 度 口 径	平成23 (2011)	平成24 (2012)	平成25 (2013)	平成26 (2014)	平成27 (2015)
300mm未満	2,484.2	2,209.0	2,504.9	3,356.0	4,019.3
300mm～500mm未満	3,511.3	5,029.0	5,029.5	2,808.2	2,326.2
500mm～1000mm未満	8,723.4	8,723.0	8,396.7	7,890.2	7,708.9
合 計	14,718.9	15,961.0	15,931.1	14,054.4	14,054.4

(4) 送水管延長

(単位：m)

年 度 口 径	平成23 (2011)	平成24 (2012)	平成25 (2013)	平成26 (2014)	平成27 (2015)
300mm未満	10,640.7	25,630.3	26,731.0	27,955.2	25,942.0
300mm～500mm未満	6,954.9	7,091.0	7,129.2	6,057.4	8,217.5
500mm～1000mm未満	4,007.8	4,007.8	4,007.8	3,855.4	3,708.5
合 計	21,603.4	36,729.1	37,868.0	37,868.0	37,868.0

4. 消火栓設置数

(単位：基)

年 度 口 径	平成23 (2011)	平成24 (2012)	平成25 (2013)	平成26 (2014)	平成27 (2015)
地 上 式	10	10	10	10	10
地 下 式	1,409	1,476	1,476	1,476	1,476
合 計	1,419	1,486	1,486	1,486	1,486

5. 簡易専用水道施設件数

(簡易水道エリアを含む。平成23年度からは斐川地域を含む。)

年 度 口 径	平成23 (2011)	平成24 (2012)	平成25 (2013)	平成26 (2014)	平成27 (2015)
前 年 度 末	193件	195件	200件	200件	199件
新 設	3件	6件	2件	3件	2件
廃 止	△1件	△1件	△2件	△4件	△5件
合 計	195件	200件	200件	199件	196件

※簡易専用水道とは、受水槽の有効容量の合計が10m³を超えるもの

6. 主要施設所在地

主 要 施 設 名					所 在 地		
来	原	浄	水	場	大津町 1 4 9 6 番地		
上	津	浄	水	場	上島町 2 8 0 0 番地		
灘	分	浄	水	場	灘分町 9 4 3 番地 1		
金	山	浄	水	場	国富町 1 8 5 2 番地 1		
上	島	水	源	地	上島町 2 7 6 4 番地 1		
向	山	配	水	池	大津町 3 6 2 9 番地 3		
新	向	山	配	水	池	大津町 3 6 3 6 番地	
七	面	山	配	水	池	大津町 3 6 6 1 番地 1	
愛	宕	山	配	水	池	平田町 6 1 3 5 番地 1	
浜	ポ	ン	プ	場	浜町 5 6 7 番地 3		
浜	山	配	水	池	浜町 2 0 4 0 番地		
西	園	ポ	ン	プ	場	西園町 3 9 3 6 番地 1	
妙	見	山	配	水	池	西園町 4 0 2 7 番地 6	
砂	子	ポ	ン	プ	場	湖陵町二部 1 2 0 5 番地 1 0	
湖	陵	配	水	池	湖陵町大池 2 1 8 8 番地		
坂	本	ポ	ン	プ	場	西神西町 1 0 3 番地 6	
新	常	楽	寺	配	水	池	湖陵町常楽寺 9 1 8 番地 5
金	山	配	水	池	国富町 1 8 5 6 番地 1		
苅	藻	谷	配	水	池	多久町 1 4 1 1 番地 4	
北	山	ポ	ン	プ	場	矢尾町 9 2 0 番地 5	
北	山	配	水	池	矢尾町 8 0 5 番地 1		
奥	井	谷	配	水	池	上島町 1 1 1 0 番地 7	
宇	那	手	ポ	ン	プ	場	宇那手町 3 6 2 番地 3
大	平	配	水	池	宇那手町 1 0 6 番地 2		
本	郷	配	水	池	園町 6 9 2 番地 4		
差	海	ポ	ン	プ	場	湖陵町差海 5 6 番地 2	
差	海	配	水	池	湖陵町差海 5 8 1 番地		
朝	山	ポ	ン	プ	場	朝山町 5 5 2 番地 4	
朝	山	配	水	池	朝山町 1 6 7 5 番地 1 2		
伊	野	配	水	池	野郷町 3 2 1 3 番地 2		
岩	倉	ポ	ン	プ	場	稗原町 4 7 5 8 番地 1 3	
岩	倉	配	水	池	稗原町 4 7 6 1 番地 2 7		

Ⅲ 業務の概要

おいしいな
だいじなお水
ごくごく

平成二十六年 度 第五十六回水道週間スローガン

1. 薬品使用状況

年 度	苛 性 ソ ー ダ (kg)	ポ リ 塩 化 物 ア ル ミ ニ ウ ム (kg)	次 亜 塩 素 酸 ソ ー ダ (kg)
平成15(2003)	83,953.1	46,777.0	94,507.0
平成16(2004)	65,241.9	43,770.0	121,410.0
平成17(2005)	73,593.4	54,920.0	127,744.5
平成18(2006)	89,944.6	78,982.7	144,695.0
平成19(2007)	122,987.1	107,381.5	159,539.5
平成20(2008)	131,015.1	98,977.4	152,580.0
平成21(2009)	99,394.0	103,460.0	165,150.0
平成22(2010)	104,274.0	102,950.0	188,330.0
平成23(2011)	108,444.0	114,780.0	190,318.0
平成24(2012)	111,094.0	95,260.0	164,570.0
平成25(2013)	104,846.0	94,180.0	146,980.0
平成26(2014)	103,587.0	91,600.0	173,590.0
平成27(2015)	105,356.0	101,630.0	168,950.0

※平成15（2003）年度は、旧出雲市の数値

2. 主要施設電力使用状況

(単位：kwh)

年 度	来原浄水場	上島水源地 上津浄水場	西 園 ポ ン プ 場	灘分浄水場	金山浄水場	浜ポンプ場	平 田 第 3 水源地
平成18 (2006)	3,618,510	1,863,170	107,710	1,128,972	150,330	288,158	298,256
平成19 (2007)	4,301,340	2,061,420	112,886	1,131,180	152,309	297,961	304,804
平成20 (2008)	4,196,270	2,065,510	110,309	1,074,672	155,315	283,661	297,044
平成21 (2009)	4,160,736	2,208,967	110,739	1,092,150	158,398	290,047	304,760
平成22 (2010)	4,357,536	2,320,172	113,326	1,151,376	163,554	303,461	324,812
平成23 (2011)	4,402,248	2,355,144	113,552	1,110,048	164,565	311,552	309,036
平成24 (2012)	4,485,120	2,783,856	113,195	1,097,796	155,020	315,163	300,560
平成25 (2013)	4,273,032	3,010,224	106,817	1,075,488	150,170	315,784	286,152
平成26 (2014)	4,439,544	2,856,120	112,997	1,026,678	135,576	317,537	269,224
平成27 (2015)	4,447,152	2,864,820	113,150	969,480	120,162	326,734	268,136

3. 業務量の推移

年 度 項 目		説 明	平成17 (2005)	平成18 (2006)	平成19 (2007)
行政区域内人口 (A)	人	年 度 末 の 行 政 区 域 内 人 口	148,624	148,520	148,168
計画給水人口 (B)	人	認 可 事 業 計 画 の 給 水 人 口	140,590	140,590	140,590
給水区域内人口 (C)	人	年 度 末 の 給 水 区 域 内 人 口	126,341	126,471	126,593
給 水 人 口 (D)	人	(C) - (給水区域内 の 未 給 水 人 口)	123,376	123,637	123,797
給 水 区 域 内 普 及 率	%	$\frac{(D)}{(C)}$	97.7	97.8	97.8
給 水 戸 数	戸	年 度 末 の 給 水 中 世 帯 数	40,858	41,473	42,028
年間配水量 (E)	千m ³	配 水 池 か ら 送 出 し た 年 間 水 量	15,949	15,941	16,119
1 日 平 均 配 水 量	m ³	$\frac{(E)}{(\text{年間日数})}$	43,697	43,673	44,042
1 日 最 大 配 水 量 (F)	m ³	1 日 配 水 量 値 実 績 の 最 大 値	49,455	52,265	52,109
1 人 1 日 平 均 配 水 量	ℓ	$\frac{(E) - (\text{年間分水量})}{(D) \times (\text{年間日数})}$	347	346	356
1 人 1 日 最 大 配 水 量	ℓ	$\frac{(F) - (\text{当日の分水量})}{(D)}$	392	413	411
年間給水量 (G) (年間有収水量)	千m ³	水道料金収入の対象 となった年間水量	14,795	14,782	14,731
有 収 率	%	$\frac{(G)}{(E)}$	92.8	92.7	91.4
1 日 平 均 有 収 水 量	m ³	$\frac{(G)}{(\text{年間日数})}$	40,535	40,499	40,249
給 水 単 価	円/m ³	1 m ³ の水の料金収入額	140.92	141.00	145.60
給 水 原 価	円/m ³	1 m ³ の水を製造する ために要する費用	129.96	136.36	142.92
職 員 数	人	水 道 局 職 員 数 (管理者を除く)	38	41	39

平成20 (2008)	平成21 (2009)	平成22 (2010)	平成23 (2011)	平成24 (2012)	平成25 (2013)	平成26 (2014)	平成27 (2015)
147,276	147,384	147,125	174,960	174,702	174,505	174,538	174,957
140,590	133,300	133,300	133,300	133,300	133,300	133,300	133,300
126,038	126,560	126,520	126,728	132,245	132,227	132,561	133,088
123,332	123,933	123,920	124,794	130,332	130,486	130,926	131,566
97.9	97.9	97.9	98.5	98.6	98.7	98.8	98.9
42,022	42,737	43,236	43,717	46,138	46,718	47,624	48,620
15,666	15,428	15,898	15,868	16,193	15,905	15,643	15,866
42,921	42,269	43,556	43,354	44,365	43,577	42,858	43,349
50,391	47,704	50,889	49,682	50,865	49,141	47,945	48,306
341	334	345	341	340	334	327	329
410	377	399	405	390	377	366	367
14,558	14,319	14,603	14,507	14,757	14,571	14,285	14,435
92.9	92.8	91.9	91.4	91.1	91.6	91.3	91.0
39,886	39,230	40,008	39,635	40,430	39,921	39,137	39,441
146.34	145.94	145.95	145.88	157.93	160.21	159.89	159.92
142.92	150.85	145.28	151.57	160.31	159.60	145.61	137.85
38	38	39	39	39	39	39	38

※給水原価は、会計制度の改正により平成26年度から次の計算式で算出しています。
給水原価＝（給水費用－長期前受金戻入）／年間総有収水量

4. 出雲市上下水道給水戸数及び給水人口(出雲市上下水道局所管分)

(平成28年3月31日現在)

(平成28年(2016)3月31日現在・出雲市総人口)				(給水区域外戸数・人口)				(給水区域内戸数・人口)				(給水区域内未給水戸数・人口)				(給水戸数・人口)			
地 区 名	世 帯 数 (戸)	人 口 (人)		世 帯 数 (戸)	人 口 (人)			世 帯 数 (戸)	人 口 (人)			世 帯 数 (戸)	人 口 (人)			世 帯 数 (戸)	人 口 (人)		
今 市	2,782	6,573		0	0			2,782	6,573			0	0			2,782	6,573		
大 津	3,848	9,569		0	0			3,848	9,569			1	1			3,847	9,568		
塩 冶	6,709	15,457		0	0			6,709	15,457			6	13			6,703	15,444		
古 志	736	2,030		1	2			735	2,028			1	1			734	2,027		
高 松	3,695	10,211		0	0			3,695	10,211			8	19			3,687	10,192		
四 絡	4,855	11,618		0	0			4,855	11,618			0	0			4,855	11,618		
高 浜	1,213	3,783		0	0			1,213	3,783			3	12			1,210	3,771		
川 跡	3,651	9,766		0	0			3,651	9,766			0	0			3,651	9,766		
鳶 巢	490	1,561		1	4			489	1,557			4	10			485	1,547		
上 津	399	1,295		0	0			399	1,295			1	2			398	1,293		
稗 原	563	1,848		1	4			562	1,844			8	18			554	1,826		
朝 山	561	1,855		6	22			555	1,833			3	7			552	1,826		
乙 立	215	642		215	642			0	0			0	0			0	0		
神 門	2,562	7,538		0	0			2,562	7,538			60	161			2,502	7,377		
神 西	1,369	3,721		25	25			1,344	3,696			1	2			1,343	3,694		
長 浜	1,756	5,115		0	0			1,756	5,115			3	7			1,753	5,108		
平 成	0			0	0			0	0			0	0			0	0		
出雲地域合計	35,404	92,582		249	699			35,155	91,883			99	253			35,056	91,630		
平 田	2,312	6,901		0	0			2,312	6,901			0	0			2,312	6,901		
灘 分	1,082	3,546		98	348			984	3,198			0	0			984	3,198		
国 富	902	3,036		0	0			902	3,036			0	0			902	3,036		
西 田	585	1,738		190	647			395	1,091			1	1			394	1,090		
鰐 淵	233	667		233	667			0	0			0	0			0	0		
久 多 美	711	2,212		0	0			711	2,212			0	0			711	2,212		
桧 山	433	1,417		12	44			421	1,373			1	2			420	1,371		
東	856	2,635		24	70			832	2,565			0	0			832	2,565		
北 浜	409	1,147		409	1,147			0	0			0	0			0	0		
佐 香	533	1,469		533	1,469			0	0			0	0			0	0		
伊 野	422	1,348		2	2			420	1,346			3	4			417	1,342		
平田地域合計	8,478	26,116		1,501	4,394			6,977	21,722			5	7			6,972	21,715		
朝 原	67	180		67	180			0	0			0	0			0	0		
須 佐	121	373		121	373			0	0			0	0			0	0		
原 田	79	253		79	253			0	0			0	0			0	0		
大 呂	166	512		166	512			0	0			0	0			0	0		
反 辺	208	638		208	638			0	0			0	0			0	0		
吉 野	23	74		23	74			0	0			0	0			0	0		
一 窪 田	245	602		245	602			0	0			0	0			0	0		
毛 津	32	118		32	118			0	0			0	0			0	0		
佐 津 目	29	107		29	107			0	0			0	0			0	0		
高 津 屋	12	32		12	32			0	0			0	0			0	0		
下 橋 波	42	139		42	139			0	0			0	0			0	0		
上 橋 波	33	82		33	82			0	0			0	0			0	0		
東 村	61	170		61	170			0	0			0	0			0	0		
八 幡 原	90	275		90	275			0	0			0	0			0	0		
佐田地域合計	1,208	3,555		1,208	3,555			0	0			0	0			0	0		
神 原	17	48		17	48			0	0			0	0			0	0		
奥 田 儀	64	149		64	149			0	0			0	0			0	0		
口 田 儀	319	878		319	878			0	0			0	0			0	0		
小 田	410	1,089		410	1,089			0	0			0	0			0	0		
多 岐	246	659		246	659			0	0			0	0			0	0		
久 村	289	822		289	822			0	0			0	0			0	0		
多伎地域合計	1,345	3,645		1,345	3,645			0	0			0	0			0	0		
畑 村	32	86		4	14			28	72							28	72		
常 楽 寺	121	347						121	347			1	1			120	346		
三 部	362	1,034						362	1,034							362	1,034		
二 部	339	942						339	942			1	1			338	941		
大 池	514	1,252						514	1,252			7	27			507	1,225		
板 津	215	582						215	582							215	582		
差 海	485	1,153						485	1,153							485	1,153		
湖陵地域合計	2,068	5,396		4	14			2,064	5,382			9	29			2,055	5,353		
遙 埴	370	1,037		1	3			369	1,034			0	0			369	1,034		
菱 根	186	573		0	0			186	573			0	0			186	573		
入 南	217	755		0	0			217	755			6	27			211	728		
中 荒 木	598	1,908		0	0			598	1,908			47	152			551	1,756		
北 荒 木	961	2,745		0	0			961	2,745			53	164			908	2,581		
修 理 免	477	1,391		0	0			477	1,391			36	105			441	1,286		
杵 築 東	350	917		0	0			350	917			5	20			345	897		
杵 築 南	679	1,808		0	0			679	1,808			58	164			621	1,644		
杵 築 西	762	1,922		0	0			762	1,922			185	452			577	1,470		
杵 築 北	361	940		1	4			360	936			60	130			300	806		
日 御 碕	128	383		94	271			34	112			6	19			28	93		
宇 龍	121	323		121	323			0	0			0	0			0	0		
鷺 浦	87	173		87	173			0	0			0	0			0	0		
鵜 峠	37	61		37	61			0	0			0	0			0	0		
大社地域合計	5,334	14,936		341	835			4,993	14,101			456	1,233			4,537	12,868		
阿 宮	132	428		132	428			0	0			0	0			0	0		
出 西	22	77		22	77			0	0			0	0			0	0		
斐川地域合計	154	505		154	505			0	0			0	0			0	0		
合 計	53,991	146,735		4,802	13,647			49,189	133,088			569	1,522			(給水戸数・人口)	48,620	131,566	

※斐川水道水道企業団給水区域

斐川地域	9,240	28,222	27	95	9,213	28,127
合 計	63,231	174,957	596	1,617	57,833	159,693

5. 水質試験結果

平成27年度

水質基準項目検査（浄水）

	主な配水区域	上津・稗原・乙立地区を除く出雲地域、大社地域の内、杵築・荒木・遥堪地区、湖陵地域全域												
分析項目	採水場所 基準値	来原配水系												
		来原浄水場	七面山配水系		向山配水系									
			出雲市上下水道局	崎屋ふれあい会館	妙見山配水系 リバーサイドタウン 集会所	鳶巣 コミュニティセンター	新宮配水系 上新宮ポンプ場	朝山配水系 畑加圧ポンプ場	浜山配水系 石臼 総合センター		中山配水系 中山地内民家	常楽寺配水系 畑村公民館	湖陵配水系 蛇池会館	差海配水系 川前地内民家
一般細菌	100個/ml以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大腸菌	検出されないこと	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	
カドミウム及びその化合物	0.01mg/l以下	0.0003 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
水銀及びその化合物	0.0005mg/l以下	0.00005 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
セレン及びその化合物	0.01mg/l以下	0.001 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
鉛及びその化合物	0.01mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	※	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	※	0.001 未満	0.001 未満	※	
ヒ素及びその化合物	0.01mg/l以下	0.001 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
六価クロム化合物	0.05mg/l以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	※	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	※	0.005 未満	0.005 未満	※	
亜硝酸態窒素	0.04mg/l以下	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	
シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/l以下	0.34	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
フッ素及びその化合物	0.8mg/l以下	0.08 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
ホウ素及びその化合物	1.0mg/l以下	0.10 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
四塩化炭素	0.002mg/l以下	0.0002 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
1,4-ジオキサン	0.05mg/l以下	0.005 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
トランス-1,2-ジクロロエチレン及び トランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/l以下	0.004 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
ジクロロメタン	0.02mg/l以下	0.002 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
テトラクロロエチレン	0.01mg/l以下	0.001 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
トリクロロエチレン	0.03mg/l以下	0.001 未満	※	※	※	※	※	※	0.002 未満	※	※	※	※	
ベンゼン	0.01mg/l以下	0.001 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
塩素酸	0.6mg/l以下	0.06 未満	0.08	0.06	0.06 未満	0.07	0.06 未満	0.10	0.06	0.16	0.08	0.10	0.07	
クロロ酢酸	0.02mg/l以下	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	
クロロホルム	0.06mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001	0.002	0.001 未満	0.002	0.001	0.001	0.001	
ジクロロ酢酸	0.04mg/l以下	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	
ジブロモクロロメタン	0.1mg/l以下	0.001 未満	0.002	0.002	0.003	0.003	0.004	0.005	0.003	0.006	0.005	0.005	0.004	
臭素酸	0.01mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	
総トリハロメタン	0.1mg/l以下	0.001 未満	0.003	0.003	0.006	0.006	0.010	0.013	0.006	0.014	0.011	0.011	0.010	
トリクロロ酢酸	0.2mg/l以下	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	
ブロモジクロロメタン	0.03mg/l以下	0.001 未満	0.001	0.001	0.002	0.002	0.003	0.004	0.002	0.004	0.003	0.003	0.003	
ブロモホルム	0.09mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001	0.001	0.002	0.002	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002	
ホルムアルデヒド	0.08mg/l以下	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	
亜鉛及びその化合物	1.0mg/l以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	※	0.01	0.005 未満	0.005 未満	※	0.006	0.006	※	※	
アルミニウム及びその化合物	0.2mg/l以下	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	※	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	※	0.02 未満	0.02 未満	※	※	
鉄及びその化合物	0.3mg/l以下	0.03 未満	0.03 未満	0.03 未満	※	0.03 未満	0.03 未満	0.03 未満	※	0.03 未満	0.03 未満	※	※	
銅及びその化合物	1.0mg/l以下	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	※	0.01	0.01 未満	0.01 未満	※	0.01 未満	0.01 未満	※	※	
ナトリウム及びその化合物	200mg/l以下	13.9	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
マンガン及びその化合物	0.05mg/l以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	※	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	※	0.005 未満	0.005 未満	※	※	
塩化物イオン	200mg/l以下	11.4	12.7	12.3	12.3	12.5	11.9	12.2	12.2	12.9	12.6	12.5	12.2	
カルシウム、マグネシウム等（硬度）	300mg/l以下	28.0	27.4	27.9	※	29.8	30.9	32.6	※	26.5	28.8	※	※	
蒸発残留物	500mg/l以下	83	80	82	※	85	97	93	※	88	81	※	※	
陰イオン界面活性剤	0.2mg/l以下	0.02 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
ジオオスミン	0.00001mg/l以下	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	※	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	※	0.000001未満	0.000001未満	※	※	
2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/l以下	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	※	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	※	0.000001未満	0.000001未満	※	※	
非イオン界面活性剤	0.02mg/l以下	0.002 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
フェノール類	0.005mg/l以下	0.0005 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
有機物（全有機炭素（TOC）の量）	3mg/l以下	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	
pH値	5.8以上8.6以下	7.0	7.2	7.0	7.5	7.4	7.7	7.7	7.4	7.5	7.7	7.8	7.5	
味	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	
臭気	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	
色度	5度以下	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	
濁度	2度以下	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	

平成27年度
水質基準項目検査（浄水）

	主な配水区域	上津・稗原地区				灘分・平田・西代・東郷・東福・久多見・野石谷・岡田・上岡田・多久谷・多久・園・鹿園寺・小境地区など		国富・口宇賀・西郷 万田・本庄地区		美野・野郷・地合地区			
分析項目	採水場所 基準値	上津配水系				灘分配水系		金山配水系		県受水系			
		上津浄水場	大平配水系		延畑配水系	灘分浄水場	小境第4区 集会所	金山浄水場	西谷生活 改善センター	三代浄水場 (県企業局)	伊野配水系		本郷配水系
			岩倉ポンプ場	岩倉配水系 仏谷加圧 ポンプ場	西谷ポンプ場						東第4分団 格納庫	地合配水系 西地合集会所	
一般細菌	100個/ml以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大腸菌	検出されないこと	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性
カドミウム及びその化合物	0.01mg/l以下	0.0003 未満	※	※	※	0.0003 未満	※	0.0003 未満	※	0.0003 未満	※	※	※
水銀及びその化合物	0.0005mg/l以下	0.00005 未満	※	※	※	0.00005 未満	※	0.00005 未満	※	0.00005 未満	※	※	※
セレン及びその化合物	0.01mg/l以下	0.001 未満	※	※	※	0.001 未満	※	0.001 未満	※	0.001 未満	※	※	※
鉛及びその化合物	0.01mg/l以下	0.001 未満	※	※	※	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	※	0.001 未満	0.001 未満
ヒ素及びその化合物	0.01mg/l以下	0.001 未満	※	※	※	0.001 未満	※	0.001 未満	※	0.001 未満	※	※	※
六価クロム化合物	0.05mg/l以下	0.005 未満	※	※	※	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	※	0.005 未満	0.005 未満
亜硝酸態窒素	0.04mg/l以下	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満
シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/l以下	1.39	※	※	※	0.19	※	0.02 未満	※	0.37	※	※	※
フッ素及びその化合物	0.8mg/l以下	0.08 未満	※	※	※	0.08 未満	※	0.12	※	0.08 未満	※	※	※
ホウ素及びその化合物	1.0mg/l以下	0.10 未満	※	※	※	0.10 未満	※	0.10 未満	※	0.10 未満	※	※	※
四塩化炭素	0.002mg/l以下	0.0002 未満	※	※	※	0.0002 未満	※	0.0002 未満	※	0.0002 未満	※	※	※
1,4-ジオキサン	0.05mg/l以下	0.005 未満	※	※	※	0.005 未満	※	0.005 未満	※	0.005 未満	※	※	※
シス-1,2-ジクロロエチレン及び トランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/l以下	0.004 未満	※	※	※	0.004 未満	※	0.004 未満	※	0.004 未満	※	※	※
ジクロロメタン	0.02mg/l以下	0.002 未満	※	※	※	0.002 未満	※	0.002 未満	※	0.002 未満	※	※	※
テトラクロロエチレン	0.01mg/l以下	0.001 未満	※	※	※	0.001 未満	※	0.001 未満	※	0.001 未満	※	※	※
トリクロロエチレン	0.03mg/l以下	0.001 未満	※	※	※	0.001 未満	※	0.001 未満	※	0.001 未満	※	※	※
ベンゼン	0.01mg/l以下	0.001 未満	※	※	※	0.001 未満	※	0.001 未満	※	0.001 未満	※	※	※
塩素酸	0.6mg/l以下	0.07	0.16	0.36	0.11	0.15	0.17	0.06 未満	0.09	0.06	0.10	0.10	0.09
クロロ酢酸	0.02mg/l以下	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満
クロロホルム	0.06mg/l以下	0.001 未満	0.002	0.005	0.002	0.001 未満	0.002	0.001 未満	0.001 未満	0.003	0.003	0.005	0.004
ジクロロ酢酸	0.04mg/l以下	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満
ジブロモクロロメタン	0.1mg/l以下	0.001	0.005	0.006	0.005	0.004	0.006	0.001 未満	0.004	0.005	0.007	0.007	0.007
臭素酸	0.01mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
総トリハロメタン	0.1mg/l以下	0.001	0.013	0.019	0.012	0.008	0.016	0.001 未満	0.008	0.014	0.018	0.02	0.019
トリクロロ酢酸	0.2mg/l以下	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満
ブロモジクロロメタン	0.03mg/l以下	0.001 未満	0.004	0.006	0.004	0.002	0.005	0.001 未満	0.002	0.005	0.006	0.006	0.006
ブロモホルム	0.09mg/l以下	0.001 未満	0.002	0.002	0.001	0.002	0.003	0.001 未満	0.002	0.001	0.002	0.002	0.002
ホルムアルデヒド	0.08mg/l以下	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満
亜鉛及びその化合物	1.0mg/l以下	0.005 未満	※	0.005 未満	※	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.009	0.005 未満	※	0.008	0.007
アルミニウム及びその化合物	0.2mg/l以下	0.02 未満	※	0.02 未満	※	0.06	0.04	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	※	0.02 未満	0.02 未満
鉄及びその化合物	0.3mg/l以下	0.03 未満	※	0.03 未満	※	0.03 未満	0.03 未満	0.03 未満	0.03 未満	0.03 未満	※	0.03 未満	0.03 未満
銅及びその化合物	1.0mg/l以下	0.01 未満	※	0.01 未満	※	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	※	0.01 未満	0.01 未満
ナトリウム及びその化合物	200mg/l以下	9.9	※	※	※	13.8	※	21.2	※	8.0	※	※	※
マンガン及びその化合物	0.05mg/l以下	0.005 未満	※	0.005 未満	※	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	※	0.005 未満	0.005 未満
塩化物イオン	200mg/l以下	14.1	14.4	14.8	14.5	11.8	12	16.8	14.9	8.5	10.2	10.2	10.2
カルシウム、マグネシウム等（硬度）	300mg/l以下	35.1	※	37.5	※	28.1	29.0	85.8	62.4	23.5	※	30.8	31.2
蒸発残留物	500mg/l以下	94	※	87	※	88	74	210	148	70	※	69	63
陰イオン界面活性剤	0.2mg/l以下	0.02 未満	※	※	※	0.02 未満	※	0.02 未満	※	0.02 未満	※	※	※
ジオオスミン	0.00001mg/l以下	0.000001未満	※	0.000001未満	※	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	※	0.000001未満	0.000001未満
2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/l以下	0.000001未満	※	0.000001未満	※	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	※	0.000001未満	0.000001未満
非イオン界面活性剤	0.02mg/l以下	0.002 未満	※	※	※	0.002 未満	※	0.002 未満	※	0.002 未満	※	※	※
フェノール類	0.005mg/l以下	0.0005 未満	※	※	※	0.0005 未満	※	0.0005 未満	※	0.0005 未満	※	※	※
有機物（全有機炭素（TOC）の量）	3mg/l以下	0.5	0.6	0.6	0.6	0.3	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.4	0.4	0.3	0.4
pH値	5.8以上8.6以下	7.0	7.1	7.4	7.0	7.2	7.2	7.0	7.2	7.4	7.4	7.4	7.4
味	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
臭気	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
色度	5度以下	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満
濁度	2度以下	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満

6. 検針・収納状況

(1) メーター設置数

(単位：台)

口径 年度	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm	75mm	100mm	150mm	200mm	300mm	合計
平成13 (2001)	22,508	8,024	964	—	316	62	26	4	3	2	1	31,910
平成14 (2002)	22,493	8,044	962	—	323	63	25	3	3	2	1	31,919
平成15 (2003)	22,432	8,285	968	—	331	65	25	3	3	2	1	32,115
平成16 (2004)	31,673	9,543	1,164	46	400	125	33	3	2	2	0	42,991
平成17 (2005)	33,613	10,018	1,192	46	427	133	33	4	2	2	0	45,470
平成18 (2006)	33,870	10,052	1,191	43	436	131	32	4	2	2	0	45,763
平成19 (2007)	34,739	10,377	1,191	52	446	135	34	4	2	2	0	46,982
平成20 (2008)	34,846	10,614	1,176	52	445	136	35	4	2	2	0	47,312
平成21 (2009)	35,093	10,878	1,192	57	452	133	35	4	2	2	0	47,848
平成22 (2010)	35,262	11,163	1,193	59	456	131	33	4	2	2	0	48,305
平成23 (2011)	35,705	11,440	1,197	57	461	129	33	4	2	2	0	49,030
平成24 (2012)	37,337	12,403	1,213	60	481	134	34	4	2	2	0	51,670
平成25 (2013)	37,657	12,832	1,231	65	484	133	34	4	2	2	0	52,444
平成26 (2014)	37,994	13,173	1,236	70	484	133	33	4	2	2	0	53,131
平成27 (2015)	38,269	13,507	1,227	78	493	136	33	4	2	2	0	53,751

※平成15（2003）年度までは、旧出雲市の数値

(2) 口径別検針件数(上水)

【出雲地域】

(単位：件)

口径	1 3 mm	2 0 mm	2 5 mm	3 0 mm	4 0 mm	5 0 mm	7 5 mm	1 0 0 mm	1 5 0 mm	2 0 0 mm	合計
出雲	152,112	77,664	5,975	127	2,025	340	114	18	6	12	238,393

【平田地域】

(単位：件)

口径	1 3 mm	2 0 mm	2 5 mm	3 0 mm	4 0 mm	5 0 mm	7 5 mm	1 0 0 mm	合計
平田	39,748	6,257	993	174	377	168	56	6	47,779

【大社地域】

(単位：件)

口径	1 3 mm	2 0 mm	2 5 mm	3 0 mm	4 0 mm	5 0 mm	合計
大社	22,738	3,370	294	106	171	122	26,801

【湖陵地域】

(単位：件)

口径	1 3 mm	2 0 mm	2 5 mm	3 0 mm	4 0 mm	5 0 mm	7 5 mm	合計
湖陵	7,717	4,482	127	6	72	42	6	12,452

(3) 収納形態別件数

年度	調定件数	口座振替 (件)	利用率 (%)	自主納付他(件)	利用率 (%)
平成17 (2005)	348,186	290,269	83.4	57,917	16.6
平成18 (2006)	352,086	294,407	83.6	57,679	16.4
平成19 (2007)	291,053	237,913	81.7	53,140	18.3
平成20 (2008)	290,414	236,907	81.6	53,507	18.4
平成21 (2009)	291,058	239,985	82.5	51,073	17.5
平成22 (2010)	293,827	241,979	82.4	51,848	17.6
平成23 (2011)	297,051	245,710	82.7	51,341	17.3
平成24 (2012)	312,373	259,632	83.1	52,741	16.9
平成25 (2013)	316,241	263,138	83.2	53,103	16.8
平成26 (2014)	320,386	265,928	83.0	54,458	17.0
平成27 (2015)	268,557	268,557	82.5	56,868	17.5

7. 料金の変遷

【出雲地域】

区 分				S 33. 4～S 37. 11			S 37. 12～S 43. 3		
				用 途 別	算 定 基 準	料 金	用 途 別	算 定 基 準	料 金
上 計 専 水 給 水 道	量 用 栓	水	道	家 事 用	8 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	115 円 17	家 事 用	8 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	150 円 22
				営 業 用	10 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	185 20	営 業 用	10 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	240 26
				工 業 用	200 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	3,500 20	工 業 用	200 m ³ まで 200 m ³ をこえ 1,000 m ³ まで (1 m ³ につき) 1,000 m ³ をこえ 3,000 m ³ まで 3,000 m ³ 以上	4,550 25 23 21
				湯 屋 用	100 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	1,150 15	湯 屋 用	100 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	1,150 20
				官 公 署・学 校・ 病 院・会 社・団 体 用	20 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	325 18	官 公 署・学 校・ 病 院・会 社・団 体 用	20 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	425 24
				娛 楽 用	20 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	850 100			
				臨 時 用	20 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	500 40	臨 時 用	20 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	650 50
				公 衆 用	8 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	100 10	公 衆 用	8 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	130 30
				共 公 設 共 用	5 m ³ まで(1 戸 当 り) 超過 1 m ³ につき	65 15	共 公 設 共 用	5 m ³ まで(1 戸 当 り) 超過 1 m ³ につき	85 20
				栓 私 設 共 用	5 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	65 15			
				定 専 家 事 用	家族数 5 人まで 家族数 1 人増すごとに	250 50	定 専 家 事 用	家族数 5 人まで 家族数 1 人増すごとに	300 60
				栓 営 業 用		500	栓 営 業 用		
簡 計 専 易 量 用 水 給 水 道	量 用 栓	水	道	家 事 用	8 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	200 10	分 水	S 42. 9～ 1 m ³ 当 り	27. 24
				営 業 用	10 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	300 20			
				工 業 用	50 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	800 20			
				官 公 署・学 校・ 会 社 用	20 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	300 15			
				臨 時 用	20 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	500 20			

区分	S 43. 4 ～ S 47. 3			S 47. 4 ～ S 50. 6		
	用途別	算定基準	料金	用途別	算定基準	料金
上水道	家事用	8 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	200 円 25	家事用	8 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	250 円 32
	営業用	10 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	300 30	営業用	10 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	390 39
	工業用	200 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	5,200 26	工業用	1000 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	35,000 35
	湯屋用	100 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	2,000 20	湯屋用	100 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	2,000 20
	官公署・学校・ 病院・会社・団体用	20 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	540 27	官公署・学校・ 病院・会社・団体用	10 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	360 36
	臨時用	20 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	1,000 50			
	公衆用	10 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	180 18	公衆用	8 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	250 25
	公設共用	5 m ³ まで(1戸当り) 超過 1 m ³ につき	110 22			
簡易水道	分水	1 m ³ 当り	27.24	分水	S 47. 9 まで 1 m ³ 当り	27.24
					S 47. 10 ～ 1 m ³ 当り	35.07

区分	S 50. 7 ～ S 56. 3			S 56. 4 ～ S 59. 5		
	用途別	算定基準	料金	用途別	算定基準	料金
水道	家事用	8 m ³ まで 8 m ³ をこえ16 m ³ まで 16 m ³ をこえるもの	340 円 (1 m ³ につき) 45 48	家事用	8 m ³ まで 8 m ³ をこえ16 m ³ まで 16 m ³ をこえ25 m ³ まで 25 m ³ をこえるもの	460 円 (1 m ³ につき) 61 67 73
	営業用	10 m ³ まで 10 m ³ をこえ20 m ³ まで 20 m ³ をこえ50 m ³ まで 50 m ³ をこえるもの	550 (1 m ³ につき) 58 61 64	営業用	10 m ³ まで 10 m ³ をこえ20 m ³ まで 20 m ³ をこえ50 m ³ まで 50 m ³ をこえ100 m ³ まで 100 m ³ をこえるもの	790 (1 m ³ につき) 83 89 95 101
	団体用	10 m ³ まで 10 m ³ をこえ20 m ³ まで 20 m ³ をこえ50 m ³ まで 50 m ³ をこえるもの	500 (1 m ³ につき) 53 56 59	団体用	10 m ³ まで 10 m ³ をこえ20 m ³ まで 20 m ³ をこえ50 m ³ まで 50 m ³ をこえ100 m ³ まで 100 m ³ をこえるもの	710 (1 m ³ につき) 75 81 87 93
	湯屋用	1 m ³ につき	30	湯屋用	1 m ³ につき	39
	分水	S 50. 7 ～ 1 m ³ 当り S 50. 10 ～ 契約水量を超過した場合、違約金として、超過水量に対し52. 44円×1/2を加算徴収 S 52. 4 ～ 同上1/2を1/4に変更	52. 44	分水	S 56. 4 ～ 1 m ³ 当り	84. 91

区分	S 59. 6 ～ H 4. 5			H 4. 6 ～ H12. 3		
	用途別	算定基準	料金 (消費税抜き)	用途別	算定基準	料金 (消費税抜き)
上水道	家事用	8 m ³ まで 8 m ³ をこえ16 m ³ まで 16 m ³ をこえ25 m ³ まで 25 m ³ をこえるもの	570 円 (1 m ³ につき) 77 84 92	家事用	8 m ³ まで 8 m ³ をこえ16 m ³ まで 16 m ³ をこえ25 m ³ まで 25 m ³ をこえるもの	700 円 (1 m ³ につき) 92 101 111
	事業用	10 m ³ まで 10 m ³ をこえ20 m ³ まで 20 m ³ をこえ50 m ³ まで 50 m ³ をこえ100 m ³ まで 100 m ³ をこえるもの	950 (1 m ³ につき) 101 109 117 124	事業用	10 m ³ まで 10 m ³ をこえ20 m ³ まで 20 m ³ をこえ50 m ³ まで 50 m ³ をこえ100 m ³ まで 100 m ³ をこえるもの	1, 150 (1 m ³ につき) 119 129 140 151
	湯屋用	1 m ³ につき	45	湯屋用	1 m ³ につき	50
	分水	S 59. 6 ～ 1 m ³ 当り	98. 31	分水	H 4. 6 ～ 1 m ³ 当り	117
	備考	H元. 4から消費税 3 %を加算		備考	H9. 4から消費税及び地方消費税 5 %を加算	

【平田地域】

区分	H12. 4～H19. 5			種別	S 59. 7～H19. 5			
	用 途 別	算 定 基 準	料 金 (消費税抜き)		用 途 別	算 定 基 準	料 金 (消費税抜き)	
上水道	家 事 用	8 m ³ まで	805 円 (1 m ³ につき)	専 用 給 水 装 置	一般用	基本料金 7 m ³ まで (基本水量)	800 円	
		8 m ³ をこえ16m ³ まで 16m ³ をこえ25m ³ まで 25m ³ をこえるもの	106 116 128					
	事 業 用	10m ³ まで	1, 320 (1 m ³ につき)		特殊用 (船舶、 プール及 びその他 臨時用)	1 m ³ につき	超過料金 (1 m ³ につき) 7 m ³ をこえ30m ³ まで 30m ³ をこえ100m ³ まで 100m ³ をこえるもの	135 140 145
		10m ³ をこえ20m ³ まで 20m ³ をこえ50m ³ まで 50m ³ をこえ100m ³ まで 100m ³ をこえるもの	137 148 161 174					
				共 用 給 水 装 置	一般用	基本料金 7 m ³ まで (基本水量)	800	
						超過料金 (1 m ³ につき) 7 m ³ をこえ30m ³ まで 30m ³ をこえ100m ³ まで 100m ³ をこえるもの	135 140 145	
道	湯 屋 用	1 m ³ につき	58	備 考	H元. 4から消費税 3 %を加算 H9. 4から消費税及び地方消費税 5 %を加算			
	分 水	1 m ³ 当り	134. 55					
	H12. 6検針分から適用							

【大社地域】

種 別	H12. 12～H19. 5		
	用 途 別	算 定 基 準	料 金 (消費税抜き)
上 水 道	一 家 事 用	8 m ³ まで 8 m ³ をこえ16 m ³ まで 16 m ³ をこえるもの	1,610 円 (1 m ³ につき) 190 200
	営 業 用	15 m ³ まで 15 m ³ をこえ50 m ³ まで 50 m ³ をこえるもの	3,200 (1 m ³ につき) 220 230
	官 公 署・ 学 校 用	10 m ³ まで 10 m ³ をこえ30 m ³ まで 30 m ³ をこえるもの	2,250 (1 m ³ につき) 220 230
	事 業 所・ 工 事 用	10 m ³ まで 10 m ³ をこえ30 m ³ まで 30 m ³ をこえるもの	2250 (1 m ³ につき) 220 230
	工 場 用	20 m ³ まで 20 m ³ をこえ50 m ³ まで 50 m ³ をこえるもの	4,500 (1 m ³ につき) 220 230
		100 m ³ まで 100 m ³ をこえ200 m ³ まで 200 m ³ をこえるもの	21,600 (1 m ³ につき) 220 230
	船 舶 用	1 m ³ につき	290
	工 事 そ の 他 臨 時 用	1 m ³ につき	290
共 用	共用栓	1 世帯につき 8 m ³ まで 8 m ³ をこえ16 m ³ まで 16 m ³ をこえるもの	1,610 (1 m ³ につき) 190 200
備 考	消費税及び地方消費税 5 %を加算		

【湖陵地域】

種 別	H12. 10～H19. 5		
	用 途 別	算 定 基 準	料 金 (消費税抜き)
上 水 道	家事用	1 m ³ まで 1 m ³ をこえ8 m ³ まで	600 円 1,020 (1 m ³ につき)
		8 m ³ をこえ20 m ³ まで 20 m ³ をこえ30 m ³ まで 30 m ³ をこえるもの	130 155 210
	官公署用 (前年度中 の月間最大 給水量が30 m ³ 以下の場 合)	1 m ³ まで 1 m ³ をこえ10 m ³ まで	770 1,540 (1 m ³ につき)
		10 m ³ をこえ30 m ³ まで 30 m ³ をこえ50 m ³ まで 50 m ³ をこえるもの	165 175 185
	官公署用 (前年度中 の月間最大 給水量が30 m ³ を超える 場合)	1 m ³ まで 1 m ³ をこえ50 m ³ まで	4,950 7,700 (1 m ³ につき)
		50 m ³ をこえ500 m ³ まで 500 m ³ をこえ2,000 m ³ まで 2,000 m ³ をこえるもの	180 185 190
共 用	事業用	1 m ³ まで 1 m ³ をこえ20 m ³ まで	2,200 3,300 (1 m ³ につき)
		20 m ³ をこえ50 m ³ まで 50 m ³ をこえ100 m ³ まで 100 m ³ をこえ300 m ³ まで 300 m ³ をこえ800 m ³ まで 800 m ³ をこえ1,500 m ³ まで 1,500 m ³ をこえるもの	185 200 215 225 240 250
備 考	消費税及び地方消費税 5 %を加算		

【合併後統一】

【現 在】

区分	H19. 6～H24. 5			区分	H24. 6～				
	口 径 別	算 定 基 準	料 金 (消費税抜き)		口 径 別	算 定 基 準	料 金 (消費税抜き)		
上	13mm 20mm 25mm	8 m ³ まで	930 円	上	13mm 20mm 25mm	8 m ³ まで	1,050 円		
		(1 m ³ につき)				(1 m ³ につき)			
		8 m ³ をこえ16m ³ まで	117			8 m ³ をこえ16m ³ まで	132		
		16m ³ をこえ25m ³ まで	128			16m ³ をこえ25m ³ まで	144		
		25m ³ をこえ50m ³ まで	141			25m ³ をこえ50m ³ まで	159		
	25mm	50m ³ をこえ100m ³ まで	184	水	25mm	50m ³ をこえ100m ³ まで	192		
		100m ³ をこえるもの	190			100m ³ をこえるもの	198		
		30mm	8 m ³ まで			1,580	30mm	8 m ³ まで	1,650
		40mm	8 m ³ まで			1,650	40mm	8 m ³ まで	1,720
		50mm	8 m ³ まで			2,180	50mm	8 m ³ まで	2,270
水	75mm	8 m ³ まで	2,580	水	75mm	8 m ³ まで	2,690		
		100mm	8 m ³ まで			2,990	100mm	8 m ³ まで	3,120
		150mm	8 m ³ まで			8,240	150mm	8 m ³ まで	8,590
		200mm	8 m ³ まで			17,050	200mm	8 m ³ まで	17,770
		30mm 40mm 50mm 75mm 100mm 150mm 200mm	(1 m ³ につき)			159 166 172 184 190	道	30mm 40mm 50mm 75mm 100mm 150mm 200mm	(1 m ³ につき)
	8 m ³ をこえ16m ³ まで								
	16m ³ をこえ25m ³ まで								
	25m ³ をこえ50m ³ まで								
	50m ³ をこえ100m ³ まで								
	道	200mm	100m ³ をこえるもの	190	道	200mm	100m ³ をこえるもの	198	
分	水	1 m ³ 当り	148. 71	備	H24. 6検針分から適用 湖陵・差海簡易水道を上水道へ統合したことに伴い、分水は廃止 料金は消費税抜き H26. 4から消費税及び地方消費税 8 %を加算				
考	H19. 6検針分から適用 地域ごとに異なっていた水道料金を統一 「用途別料金体系」を「口径別料金体系」に変更 消費税及び地方消費税 5 %を加算			考	H24. 6検針分から適用 湖陵・差海簡易水道を上水道へ統合したことに伴い、分水は廃止 料金は消費税抜き H26. 4から消費税及び地方消費税 8 %を加算				

8. 加入金の変遷

【出雲地域】

口 径	S 50. 7 ～52. 3	S 52. 4 ～56. 3	S 56. 4 ～59. 5	S 59. 6 ～H19. 3
13mm	18, 000	18, 000	36, 000	47, 000
20mm	38, 000	38, 000	76, 000	99, 000
25mm	80, 000	80, 000	160, 000	210, 000
30mm	—	—	—	—
40mm	250, 000	250, 000	500, 000	650, 000
50mm	430, 000	430, 000	860, 000	1, 120, 000
75mm	1, 300, 000	1, 300, 000	2, 600, 000	3, 300, 000
100mm	2, 500, 000	2, 500, 000	5, 000, 000	6, 500, 000
150mm	6, 000, 000	6, 000, 000	管理者が 別に定める	管理者が 別に定める
200mm	—	13, 000, 000	〃	〃
250mm	—	23, 000, 000	〃	〃

(単位：円、消費税抜き)

【平田地域】

【大社地域】

【湖陵地域】

口 径	S 52. 11 ～H19. 3	S 56. 4 ～H19. 3	S 57. 11 ～H19. 3
13mm	50, 000	50, 000	60, 000
20mm	130, 000	90, 000	130, 000
25mm	230, 000	160, 000	250, 000
30mm	330, 000	270, 000	—
40mm	710, 000	460, 000	700, 000
50mm	1, 230, 000	800, 000	1, 000, 000
75mm	3, 340, 000	1, 500, 000	市長(町長)が別に定める
100mm	6, 820, 000	—	〃
150mm	管理者が別に定める	—	〃
200mm	〃	—	〃
250mm	〃	—	〃

(単位：円、消費税抜き)

【現在】

口 径	H19. 4～
13mm	50, 000
20mm	110, 000
25mm	220, 000
30mm	310, 000
40mm	680, 000
50mm	1, 170, 000
75mm	3, 300, 000
100mm	6, 500, 000
150mm以上	管理者(市長)が別に定める額
備 考	地域ごとに異っていた加入金を統一

(単位：円、消費税抜き)

9. 平成27年度 口径別有収水量と給水収益(上水)

出雲地域

口径	13	20	25	30	40	50	75
水栓件数	25,759	13,203	1,033	23	349	61	21
調定件数(件)	152,112	77,664	5,975	127	2,025	340	114
水量(m ³)	4,343,510	3,276,380	656,040	30,203	959,199	485,603	377,115
料金(円、税抜)	662,878,443	479,194,818	108,963,987	5,760,037	177,517,022	95,886,440	74,656,881
供給単価(円、税抜)	152.61	146.26	166.09	190.71	185.07	197.46	197.97

口径	100	150	200	合計
水栓件数	3	1	2	40,455
調定件数(件)	18	6	12	238,393
水量(m ³)	164,106	15,934	268,859	10,576,949
料金(円、税抜)	32,507,040	3,223,932	53,592,402	1,694,181,002
供給単価(円、税抜)	198.09	202.33	199.33	160.18

平地地域

口径	13	20	25	30	40	50	75
水栓件数	6,676	1,068	166	30	67	28	10
調定件数(件)	39,748	6,257	993	174	377	168	56
水量(m ³)	1,492,757	283,557	87,428	42,194	135,638	104,726	42,530
料金(円、税抜)	222,716,802	41,997,555	14,975,772	8,183,992	26,423,191	20,622,642	8,435,794
供給単価(円、税抜)	149.20	148.11	171.29	193.96	194.81	196.92	198.35

口径	100	合計
水栓件数	1	8,046
調定件数(件)	6	47,779
水量(m ³)	21,146	2,209,976
料金(円、税抜)	4,190,268	347,546,016
供給単価(円、税抜)	198.16	157.26

湖陵地域

口径	13	20	25	30	40	50	75
水栓件数	1,310	766	22	1	12	7	1
調定件数(件)	7,717	4,482	127	6	72	42	6
水量(m ³)	251,865	159,647	22,465	488	46,613	44,063	2,539
料金(円、税抜)	37,916,991	23,780,133	4,013,538	88,072	9,106,390	8,718,472	500,922
供給単価(円、税抜)	150.54	148.95	178.66	180.48	195.36	197.86	197.29

口径	合計
水栓件数	2,119
調定件数(件)	12,452
水量(m ³)	527,680
料金(円、税抜)	84,124,518
供給単価(円、税抜)	159.42

大社地域

口径	13	20	25	30	40	50	合計
水栓件数	3,833	583	50	19	30	21	4,536
調定件数(件)	22,738	3,370	294	106	171	122	26,801
水量(m ³)	666,805	144,516	40,442	50,321	116,788	101,960	1,120,832
料金(円、税抜)	102,144,441	21,302,910	7,085,613	9,799,398	22,146,578	20,117,205	182,596,145
供給単価(円、税抜)	153.18	147.41	175.20	194.74	189.63	197.30	162.91

合計

口径	13	20	25	30	40	50	75
水栓件数	37,578	15,620	1,271	73	458	117	32
調定件数(件)	222,315	91,773	7,389	413	2,645	672	176
水量(m ³)	6,754,937	3,864,100	806,375	123,206	1,258,238	736,352	422,184
料金(円、税抜)	1,025,656,677	566,275,416	135,038,910	23,831,499	235,193,181	145,344,759	83,593,597
供給単価(円、税抜)	151.84	146.55	167.46	193.43	186.92	197.38	198.00

口径	100	150	200	合計
水栓件数	4	1	2	55,156
調定件数(件)	24	6	12	325,425
水量(m ³)	185,252	15,934	268,859	14,435,437
料金(円、税抜)	36,697,308	3,223,932	53,592,402	2,308,447,681
供給単価(円、税抜)	198.09	202.33	199.33	159.92

10. 給水装置工事申請件数

種別 \ 年度	平成22 (2010)	平成23 (2011)	平成24 (2012)	平成25 (2013)	平成26 (2014)	平成27 (2015)
1. 新 設	302件	408件	280件	275件	197件	210件
2. 改 造	770件	758件	759件	891件	757件	776件
3. 修 繕	75件	65件	108件	85件	78件	48件
4. 撤 去	10件	5件	0件	0件	0件	0件
5. 工事中止	2件	2件	2件	4件	6件	0件
合 計	1,159件	1,238件	1,149件	1,255件	1,038件	1,034件

11. 水道施設修繕工事件数

種別 \ 年度	平成22 (2010)	平成23 (2011)	平成24 (2012)	平成25 (2013)	平成26 (2014)	平成27 (2015)
1. 配 水 管	176件	301件	337件	239件	207件	185件
2. 給 水 管	595件	600件	680件	625件	558件	503件
3. その他施設	109件	89件	74件	72件	77件	144件
合 計	880件	990件	1,091件	936件	842件	832件

12. 指定給水装置工事事業者数(平成28年3月31日現在)

地域別	出雲 地域	平田 地域	佐田 地域	多伎 地域	湖陵 地域	大社 地域	斐川 地域	市外	合計
指定業者	78社	21社	6社	3社	3社	13社	9社	53社	186社

IV 財務の状況

復興の 未来と生命（いのち） 照らす水

平成二十五年度 第五十五回水道週間スローガン

1. 平成27年度(2015)出雲市水道事業会計 決算書

(1)収益の収入及び支出

(単位：円、消費税及び地方消費税込)

区 分	予 算 額	決 算 額	(うち消費税及び地方消費税)	繰 越 額
営 業 収 益	2,539,575,000	2,592,952,504	(187,581,291)	
営 業 外 収 益	450,125,000	448,090,326	(6,024,974)	
特 別 利 益	200,000	10,146,434	(2,072)	
収 入 合 計	2,989,900,000	3,051,189,264	(193,608,337)	
営 業 費 用	2,407,265,000	2,249,713,279	(60,727,625)	21,845,000
営 業 外 費 用	264,176,000	240,015,387		
特 別 損 失	10,201,407	10,280,365	(36,622)	
予 備 費	10,566,593	0		
支 出 合 計	2,692,209,000	2,500,009,031	(60,764,247)	21,845,000

(2)資本の収入及び支出

区 分	予 算 額	決 算 額	(うち消費税及び地方消費税)	繰 越 額
企 業 債	283,000,000	283,000,000		
工 事 負 担 金	101,840,000	56,810,520		
他 会 計 負 担 金	950,000	18,175,152		
収 入 合 計	385,790,000	357,985,672		
建 設 改 良 費	977,079,000	743,014,411	(49,644,964)	136,209,600
企 業 債 償 還 金	409,089,000	409,088,809		
予 備 費	1,080,000	0		
支 出 合 計	1,387,248,000	1,152,103,220	(49,644,964)	136,209,600

2. 出雲市水道事業会計 損益計算書（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

（単位：円、消費税及び地方消費税抜 %）

借 方			貸 方		
科 目	金 額	構成比	科 目	金 額	構成比
営 業 費 用	2,188,985,654	76.6	営 業 収 益	2,405,371,213	84.2
原水及び浄水費	377,599,671	13.2	給水収益	2,308,447,681	80.8
配水及び給水費	382,585,633	13.4	受託工事収益	7,936,000	0.3
受託工事費	14,367,806	0.5	その他営業収益	88,987,532	3.1
業 務 費	109,159,075	3.8			
総 係 費	143,716,773	5.0	営 業 外 収 益	442,065,452	15.4
減価償却費	1,128,713,144	39.6	加 入 金	69,100,000	2.4
資産減耗費	32,843,552	1.1	受取利息及び 配 当 金	4,561,611	0.2
			他会計繰入金	12,800,893	0.4
営 業 外 費 用	156,769,687	5.5	施設分担金	6,040,600	0.2
支払利息及び 企業債取扱諸費	156,769,687	5.5	長期前受金戻入	341,428,662	11.9
			雑 収 益	8,133,686	0.3
特 別 損 失	10,243,743	0.3	特 別 利 益	10,144,362	0.4
過年度損益修正損	642,336	0.0	過年度損益修正益	25,920	0.0
その他特別損失	9,601,407	0.3	引当金戻入益	10,118,442	0.4
当年度純利益	501,581,943	17.6			
合 計	2,857,581,027	100.0	合 計	2,857,581,027	100.0

3. 出雲市水道事業会計 貸借対照表（平成28年3月31日）

（単位：円、消費税及び地方消費税抜 %）

借 方			貸 方		
科 目	金 額	構成比	科 目	金 額	構成比
固 定 資 産	28,439,131,384	91.1	固 定 負 債	8,245,078,382	26.5
有 形 固 定 資 産	28,437,059,959	91.1	企 業 債	8,215,710,205	26.4
土 地	1,760,679,771	5.6	引 当 金	29,368,177	0.1
建 物	1,145,819,772	3.7	流 動 負 債	1,116,328,690	3.6
建 物 附 属 設 備	351,101,563	1.1	企 業 債	379,151,988	1.2
構 築 物	20,924,146,254	67.1	未 払 金	368,231,241	1.2
機 械 及 び 装 置	3,613,477,073	11.6	未 払 費 用	1,026,928	0.0
車 両 運 搬 具	9,368,708	0.0	引 当 金	24,582,841	0.1
工 具 器 具 及 び 備 品	62,348,326	0.2	そ の 他 流 動 負 債	125,113,754	0.4
建 設 仮 勘 定	570,118,492	1.8	仮 受 金	218,221,938	0.7
無 形 固 定 資 産	671,425	0.0	繰 延 収 益	8,085,602,188	25.9
借 地 権	671,425	0.0	（ 負 債 合 計 ）	17,447,009,260	56.0
投 資 そ の 他 の 資 産	1,400,000	0.0	資 本 金	11,726,714,522	37.6
出 資 金	1,400,000	0.0	剰 余 金	1,991,796,173	6.4
流 動 資 産	2,726,388,571	8.9	資 本 剰 余 金	350,917,373	1.1
現 金 預 金	2,399,476,722	7.7	工 事 負 担 金	50,617,002	0.2
未 収 金	273,197,533	0.9	国 庫 補 助 金	103,814,583	0.3
貯 蔵 品	17,431,066	0.1	受 贈 財 産 評 価 額	11,314,447	0.0
前 払 金	35,633,250	0.2	他 会 計 負 担 金	39,470,717	0.1
そ の 他 流 動 資 産	650,000	0.0	他 会 計 補 助 金 等	2,339,385	0.0
			加 入 金	143,361,239	0.5
			利 益 剰 余 金	1,640,878,800	5.3
			減 債 積 立 金	363,614	0.0
			建 設 改 良 積 立 金	1,076,101,328	3.5
			当 年 度 未 処 分 金	564,413,858	1.8
			利 益 剰 余 金		
			（ 資 本 合 計 ）	13,718,510,695	44.0
資 産 合 計	31,165,519,955	100.0	負 債 資 本 合 計	31,165,519,955	100.0

4. 財務比率・経営比率

	区 分	算 式	平成27年度 (2015)	
1	自 己 資 本 率	$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	$\frac{21,804,113 \text{千円}}{31,165,520 \text{千円}} \times 100$	70.0 %
2	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延資産}} \times 100$	$\frac{28,439,131 \text{千円}}{31,165,520 \text{千円}} \times 100$	91.3 %
3	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	$\frac{8,245,078 \text{千円}}{31,165,520 \text{千円}} \times 100$	26.5 %
4	固定資産対長期資本比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定負債} + \text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}} \times 100$	$\frac{28,439,131 \text{千円}}{30,049,191 \text{千円}} \times 100$	94.6 %
5	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}} \times 100$	$\frac{28,439,131 \text{千円}}{21,804,113 \text{千円}} \times 100$	130.4 %
6	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	$\frac{2,726,389 \text{千円}}{1,116,329 \text{千円}} \times 100$	244.2 %
7	当座比率	$\frac{\text{現金及び預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$	$\frac{2,672,674 \text{千円}}{1,116,329 \text{千円}} \times 100$	239.4 %
8	未収金回転率	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\frac{\text{期首未収金} + \text{期末未収金}}{2}}$	$\frac{2,397,435 \text{千円}}{331,552 \text{千円}}$	7.23 回
9	総資本回転率	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\frac{\text{期首負債資本合計} + \text{期末負債資本合計}}{2}}$	$\frac{2,397,435 \text{千円}}{31,078,863 \text{千円}}$	0.077 回
10	固定資産回転率	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\frac{\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}}{2}}$	$\frac{2,397,435 \text{千円}}{28,669,629 \text{千円}}$	0.084 回
11	総資本利益率	$\frac{\text{経常利益} - \text{経常損失}}{\frac{\text{期首負債資本合計} + \text{期末負債資本合計}}{2}} \times 100$	$\frac{501,681 \text{千円}}{31,078,863 \text{千円}} \times 100$	1.61 %
12	総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	$\frac{2,857,580 \text{千円}}{2,355,999 \text{千円}} \times 100$	121.3 %

平成26（2014） 規模別全国平均	備考
71.1 %	総資本（負債、資本）に占める自己資本（自己資本金、剰余金）の割合 自己資本は、負債と異なり原則として返済する必要のない資本であり、 この数値が高いほど財政状態が良いといえる。
89.3 %	総資産（固定資産、流動資産、繰延勘定）に占める固定資産の割合 一般にこの数値が低いほうが柔軟な経営が可能になるが、水道事業は 施設型の企業であり、数値が高くならざるを得ない。
25.6 %	総資本に占める固定負債の割合 資本のうち固定負債、借入資本金への依存度を示す指標であり、自己資本 構成比率とは逆の傾向を示す。
92.4 %	固定資産がどの程度長期の資本で調達されているかを示す比率 この数値は100%以下で低いことが望ましい。100%を上回るとは、 不良債務発生を意味し警戒しなければならない。
125.6 %	自己資本がどの程度固定資産に投下されているかを示す比率 この数値は100%以下であることが望ましいが、水道事業では建設改良の財 源を企業債に依存する度合いが高いので、必然的にこの数値が高くなる。
317.6 %	短期債務に対する支払能力を示す比率 一般にこの数値が200%以上ならば安全といわれており、100%を下回れば 不良債務が発生していることになる。
301.0 %	短期債務に対する直接的な支払能力を示す比率 この数値は100%以上で高いほうが良い。支払手段として現金預金のほかに 未収金も含むために未収金回転率と併せて分析する必要がある。
7.48 回 [その他未収金を含む]	平均営業未収金は、期首と期末の営業未収金の平均により算出した。 この数値は営業未収金の回収速度を示し、高いほうが良い。
0.086 回	平均総資本は、期首と期末の総資本額の平均により算出した。 総資本に対する営業収益の割合であり、この数値が高いほど投下資本に 比して営業活動が活発であることを意味する。
0.097 回	平均有形固定資産は、期首と期末の有形固定資産の平均により算出した。 固定資産がどの程度営業活動に利用されているかを示す指標。この数値 が高いほど施設が有効に稼働しているといえる。
1.28 % [経常収支赤字団体含まず]	総資本の収益性、効率性を示す比率 投下した総資本に対する利益率であり、この数値が高いほど事業の収益性が 良いといえる。
109.2 % [経常収支赤字団体含まず]	企業の収益性を示す比率 この比率は、損益計算上総収益で総費用をまかなえるかを示し、数値が 100%以上で高いほうが利益率が良い。

	区 分	算 式	平成27年度（2015）	
13	経 常 収 支 比 率	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$	$\frac{2,847,436\text{千円}}{2,345,755\text{千円}} \times 100$	121.4 %
14	営 業 収 支 比 率	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費用}} \times 100$	$\frac{2,397,435\text{千円}}{2,174,619\text{千円}} \times 100$	110.2 %
15	利 子 負 担 率	$\frac{\text{支 払 利 息}}{\text{建設改良費等、その他の企業債・長期借入金} + \text{再建債} + \text{リース債務} + \text{一時借入金}} \times 100$	$\frac{156,769\text{千円}}{8,594,862\text{千円}} \times 100$	1.82 %
16	企 業 債 償 還 元 金 対 減 価 償 却 費 比 率	$\frac{\text{建設改良のための企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却費} - \text{長期前受金戻入}} \times 100$	$\frac{409,089\text{千円}}{787,285\text{千円}} \times 100$	52.0 %
17	企 業 債 償 還 元 金 対 給 水 収 益 比 率	$\frac{\text{建設改良のための企業債償還元金}}{\text{給 水 収 益}} \times 100$	$\frac{409,089\text{千円}}{2,308,448\text{千円}} \times 100$	17.7 %
18	企 業 債 利 息 対 給 水 収 益 比 率	$\frac{\text{企 業 債 利 息}}{\text{給 水 収 益}} \times 100$	$\frac{156,769\text{千円}}{2,308,448\text{千円}} \times 100$	6.8 %
19	減 価 償 却 費 対 給 水 収 益 比 率	$\frac{\text{減 価 償 却 費}}{\text{給 水 収 益}} \times 100$	$\frac{1,128,713\text{千円}}{2,308,448\text{千円}} \times 100$	48.9 %
20	職 員 給 与 費 対 給 水 収 益 比 率	$\frac{\text{職 員 給 与 費}}{\text{給 水 収 益}} \times 100$	$\frac{220,936\text{千円}}{2,308,448\text{千円}} \times 100$	9.6 %
21	有 形 固 定 資 産 対 減 価 償 却 率	$\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}} \times 100$	$\frac{19,204,963\text{千円}}{45,311,225\text{千円}} \times 100$	42.4 %
22	資 本 費	$\frac{\text{企業債利息} + \text{減価償却費} + \text{受水費中資本費} - \text{長期前受金戻入}}{\text{年 間 総 有 収 水 量}}$	$\frac{982,373\text{千円}}{14,435\text{千m}^3}$	68.1 円
23	負 荷 率	$\frac{\text{一 日 平 均 配 水 量}}{\text{一 日 最 大 配 水 量}} \times 100$	$\frac{43,349\text{m}^3}{48,306\text{m}^3} \times 100$	89.7 %
24	最 大 稼 働 率	$\frac{\text{一 日 最 大 配 水 量}}{\text{配 水 能 力}} \times 100$	$\frac{48,306\text{m}^3}{69,859\text{m}^3} \times 100$	69.1 %
25	施 設 利 用 率	$\frac{\text{一 日 平 均 配 水 量}}{\text{配 水 能 力}} \times 100$	$\frac{43,349\text{m}^3}{69,859\text{m}^3} \times 100$	62.1 %

平成26（2014） 規模別全国平均	備考
114.8 [経常収支赤字団体含まず]	% 企業の経常的な活動における収益性を示す比率 この数値が100%以上で高いほうが利益率が良い。
107.9 [経常収支赤字団体含まず]	% 企業の主たる営業活動における収益性を示す比率 この数値が100%以上で高いほうが利益率が良く、健全経営といえる。
2.40	% 利子負担の程度を示す指標。平均有利子負債（企業債、他会計借入金、一時借入金）は、期首と期末の平均で算出した。この数値が低いほうが、低利の借入金を利用しているといえる。
67.9	% 減価償却費に対する企業債償還金の割合 内部留保資金である減価償却費で、企業債償還元金をまかなえるかを示す。 また、投下資本の回収と再投資のバランスを見ることもできる。
21.0	% 水道料金収入に対する企業債償還金の割合 企業債償還元金がどの程度経営の圧迫要因になっているかを示し、 この数値が低いほうが良い。
7.4	% 水道料金収入に対する企業債利息の割合 企業債の支払利息がどの程度経営の圧迫要因になっているかを示し、 この数値が低いほうが良い。
41.0	% 水道料金収入に対する減価償却費の割合
10.3	% 水道料金収入に対する職員給与費の割合 職員給与費は、受託工事費勘定、資本勘定所属職員分を除く。
43.2	% 有形固定資産の減価償却の割合 この比率により減価償却の進み具合や、資産の老朽化の度合を計ることができる。数値が高いほど資産取得後の年数が経過しているといえる。
67.07	円 有収水量 1 m ³ 当たりの企業債利息及び減価償却費の額
89.6	% 施設の効率性を分析する比率 この数値が高いほど効率的である。季節的な需要変動が大きいと施設効率 は悪くなり、負荷率が小となる。
71.7	% 計画に対する施設効率を分析する比率 平成27年度の一 日最大配水量は48,306m ³ であった。
64.2	% 水道施設の経済性を総括的に分析する比率 この数値が高いほど効率的で経済的である。 なお、負荷率、最大稼働率と併せて適切な施設規模を考察する。

	区 分	算 式	平成27年度（2015）	
26	配水管使用効率	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{導水管}+\text{送水管}+\text{配水管延長}}$	$\frac{15,866\text{千m}^3}{1,449\text{千m}}$	m^3/m 10.9
27	固定資産使用効率	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{有形固定資産}}$	$\frac{15,866\text{千m}^3}{28,437,060\text{千円}}$	$\text{m}^3/\text{万円}$ 5.58
28	職員1人当たり 給水人口	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{損益勘定職員数}}$	$\frac{131,566\text{人}}{30\text{人}}$	人 4,386
29	職員1人当たり 有収水量	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{損益勘定職員数}}$	$\frac{14,435,437\text{m}^3}{30\text{人}}$	m^3 481,181
30	職員1人当たり 営業業収益	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{損益勘定職員数}}$	$\frac{2,397,435\text{千円}}{30\text{人}}$	千円 79,915

平成26（2014） 規模別全国平均	備考
m^3/m 19.6	導水管、送水管、配水管の効率性を分析する指標 水道管の布設延長に対する配水量の割合であり、この数値が高いほど良い。 給水区域の人口密度によって影響を受ける。
$\text{m}^3/\text{万円}$ 7.37	水道施設の効率性を分析する指標 有形固定資産に対する配水量の割合であり、この数値が高いほど効率的であるといえる。
人 4,530	労働生産性を分析する指標 職員数と業務量について給水人口で比較する。 職員数は損益勘定所属職員で、平成27年度は30人である。
m^3 516,150	労働生産性を分析する指標 職員数と業務量について給水量で比較する。
千円 78,082	労働生産性を分析する指標 職員数と業務量について営業収益で比較する。

＊地方公営企業会計基準の見直しにより、新たな会計基準を適用して数値を算出している。

＊規模別全国平均は給水人口10万人以上15万人未満で地下水、伏流水を主な水源とする事業体の平均値

5. 給水原価及び供給単価算出図(平成27年度決算)

(単位：円、消費税及び地方消費税抜)

- ・ 総配水量 15,865,911m³
- ・ 有収水量 14,435,437m³
- ・ 有 収 率 90.98%

給水収益 2,308,447,681	給水費用	減価償却費	長期前受金戻入
		1,128,713,144	341,428,662
		営業外費用	長期前受金戻入を除く給水費用 1,989,958,873
		156,769,687	
		資産減耗費	
		32,843,552	
		業務費	
		109,159,075	
		総係費	
		143,716,773	
	直接給水費用 760,185,304	原水・浄水費	
		377,599,671	
		配水・給水費	
		382,585,633	

1m³当たり単価

供給単価（販売価格） 年間有収水量に対し 159円92銭	販売原価 年間有収水量に対し 161円50銭	給水原価 年間有収水量に対し 137円85銭
	総原価 年間総配水量に対し 146円94銭	
	直接給水原価 年間総配水量に対し 47円91銭	

* 給水費用

総費用 受託工事費 特別損失

$$2,355,999,084 - (14,367,806 + 10,243,743) = 2,331,387,535$$

V 簡易水道事業

さあ今日も 水と元気が 蛇口から

平成二十四年度 第五十四回水道週間スローガン

平成27年度(2015)業務量

項目		地域	説明	乙立	河下広域	塩津	美保	島村	東部統合	須佐	窪田	多伎	日御碕	鷺浦猪目	阿宮	簡水計	多久谷畑 (飲供)
行政区域内人口(A)		人	年度末の行政 区域人口	642	2,147	154	93	348	1,532	1,814	1,741	3,645	594	301	505	13,516	26
計画給水人口(B)		人	認可事業計画 の給水人口	900	3,550	300	177	406	1,870	2,050	2,400	4,460	840	297	474	17,724	26
給水区域内人口(C)		人	年度末の給水 区域内人口	642	2,147	154	93	348	1,532	1,755	1,727	3,626	594	301	505	13,424	26
給水人口(D)		人	(C)－(給水区域内 の未給水人口)	628	2,138	154	93	348	1,518	1,721	1,711	3,626	593	301	505	13,336	26
普及 率	行政区域内普及率	%	$\frac{(D)}{(A)}$	98	100	100	100	100	99	95	98	99	100	100	100	99	100
	給水区域内普及率	%	$\frac{(D)}{(C)}$	98	100	100	100	100	99	98	99	100	100	100	100	99	100
給水戸数		戸	年度末の給水 中世帯数	207	703	64	31	98	550	542	603	1,338	214	155	154	4,659	6
年間配水量(E)		m³	配水池から送出 した年間水量	60,271	261,880	11,485	8,429	32,432	166,425	230,386	199,971	532,595	73,616	29,017	49,137	1,655,644	1,415
1日平均給水量(366日)		m³	$\frac{(E)}{(年間日数)}$	165	716	31	23	89	455	629	546	1,455	201	79	134	4,524	4
1日最大給水量(F) *		m³	1日配水量 実績の最大値	418	1,383	56	54	170	867	1,182	879	2,068	442	186	299	8,004	25
年間給水量(G) (年間有収水量)		m³	水道料金収入の対象 となった年間水量	54,444	187,718	11,422	8,337	30,743	125,167	171,932	150,021	431,790	69,018	23,790	37,016	1,301,398	1,309
有収率		%	$\frac{(G)}{(E)}$	90	72	99	99	95	75	75	75	81	94	82	75	79	93
1日平均有収水量 (366日)		m³	$\frac{(G)}{(年間日数)}$	149	513	31	23	84	342	470	410	1,180	189	65	101	3,556	4
1人1日平均使用水量 (366日)		ℓ	$\frac{(家事用有収水量)}{(D) \times (年間日数)}$	205	221	193	238	236	208	211	195	225	190	200	199	213	138

* 一日最大給水実績が計画一日最大給水量を超えているのは、寒波等による漏水事故等のためである。

VI 組織

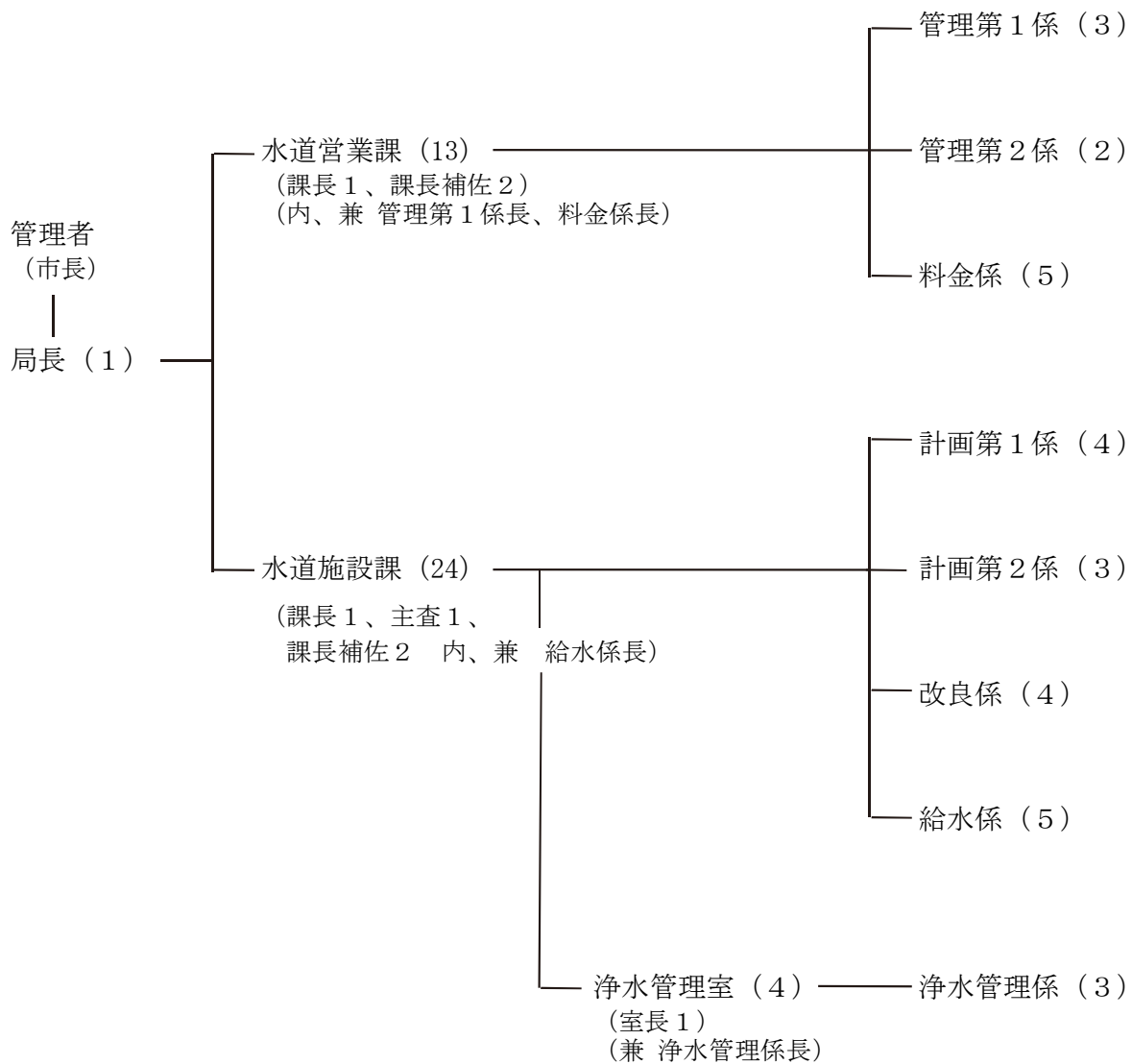
蛇口から
あふれるぼくらの
夢・未来

平成二十三年度 第五十三回水道週間スローガン

1. 機構図

平成28年（2016）3月31日現在

上下水道局（38）



2. 事務分掌

<水道営業課>

管理第1係

- (1) 上水道事業の総合計画及び事業計画に関すること。
- (2) 市議会提出議案に関すること。
- (3) 上水道事業の条例、規程その他法令に関すること。
- (4) 公印の管守に関すること。
- (5) 上水道事業の文書の収受に関すること。
- (6) 人事、給与及び労務に関すること。
- (7) 職員の研修及び教養に関すること。
- (8) 職員の福利厚生に関すること。
- (9) 上水道事業の予算及び決算に関すること。
- (10) 上水道事業の資金計画に関すること。
- (11) 上水道事業の国庫支出金、企業債及び一時借入金に関すること。
- (12) 上水道事業の資産の取得及び処分に関すること。
- (13) 上水道事業の現金及び有価証券の出納保管に関すること。
- (14) 工事の入札及び契約に関すること。
- (15) 指名願い及び指定給水装置工事業者に関すること。
- (16) 入札参加資格審査に関すること。
- (17) 諸資材、物品等の購入契約に関すること。
- (18) 上水道事業の貯蔵品の出納保管に関すること。
- (19) 上水道事業の会計経理に関すること。
- (20) 各種統計調査に関すること。
- (21) 庁舎の管理、庁中の取締及び当直に関すること。
- (22) 市町村職員共済組合に関すること。
- (23) 個人情報の管理に関すること。
- (24) 水道料金等審議会に関すること。
- (25) 局内（水道事業に限る。）の庶務に関すること。
- (26) 課内の庶務に関すること。
- (27) 災害対策に関すること。
- (28) 分水及び受水に関すること。
- (29) 車両の管理に関すること。

管理第2係

- (1) 簡易水道（飲料水供給事業を含む。以下同じ。）の総合計画及び事業計画に関すること。
- (2) 簡易水道の条例、規則その他法令に関すること。
- (3) 簡易水道に関する文書の収受に関すること。
- (4) 簡易水道の予算及び決算に関すること。

- (5) 簡易水道の国庫支出金、起債及び一時借入金に関する事。
- (6) 簡易水道の資産の取得及び処分に関する事。
- (7) 簡易水道の会計経理に関する事。
- (8) 簡易水道の調定に関する事。
- (9) 簡易水道に関する各種届出等に関する事。

料 金 係

- (1) 水道料金（全ての水道事業の料金をいう。ただし、斐川地域を除く。以下同じ。）の調定に関する事。
- (2) 水道料金の納入通知書の作成及び発送に関する事。
- (3) 水道料金の徴収又は督促に関する事。
- (4) 水道料金の収納に関する事。
- (5) 水道料金の軽減又は免除に関する事。
- (6) 検針データの処理に関する事。
- (7) 料金システムの管理運用に関する事。
- (8) 使用水量の認定に関する事。
- (9) 給水の開始及び中止の受付に関する事。
- (10) 公共下水道使用料、農業集落排水施設使用料、漁業集落排水施設使用料、小規模集合排水施設使用料及び浄化槽施設使用料（以下「下水道使用料等」という。）の徴収等に関する事。（ただし、斐川地域を除く。）
- (11) 広報及びホームページに関する事。

<水道施設課>

計画第1係

- (1) 上水道事業の基本計画及び事業認可に関する事。
- (2) 上水道施設の拡張及び改良工事に関する事。
- (3) 上水道の水道施設台帳整備に関する事。

計画第2係

- (1) 簡易水道事業の基本計画及び事業認可に関する事。
- (2) 簡易水道施設の拡張及び改良工事に関する事。
- (3) 簡易水道の水道施設台帳整備に関する事。

改良係

- (1) 上水道施設の支障移転等に関する事。
- (2) 簡易水道施設の支障移転等に関する事。

給水係

- (1) 配水施設及び給水施設の維持管理に関する事。
- (2) 有収率に関する事。
- (3) 水質等苦情処理に関する事。
- (4) 給水に関する諸届の受付処理に関する事。

- (5) 給水施設台帳の整備に関する事。
- (6) 給水装置工事にに関する事。
- (7) 水道メーターの管理及び取替修理に関する事。
- (8) 専用水道、簡易専用水道及び小規模貯水水道に関する事。
- (9) 管路図面の整備に関する事。

<浄水管理室>

浄水管理係

- (1) 水質の保全及び水質検査に関する事。
- (2) 水道施設（配水施設を除く。）の運転と維持管理に関する事。
- (3) 電気及び計装設備に関する事。

<平田営業所>

- (1) 水道料金、下水道使用料等の徴収及び督促に関する事。
- (2) 水道料金、下水道使用料等の軽減又は免除に関する事。
- (3) 検針データの処理に関する事。
- (4) 使用水量の認定に関する事。
- (5) 給水の開始、中止の受付、水道メーターの管理及び取替等に関する事。
- (6) 水道施設の拡張及び改良工事にに関する事。
- (7) 水道施設の支障移転等に関する事。
- (8) 水道施設台帳の整備に関する事。
- (9) 給水施設台帳の整備に関する事。
- (10) 給水装置の維持管理に関する事。
- (11) 給水に関する諸届の受付に関する事。
- (12) 水道施設の運転と維持管理に関する事。
- (13) 有収率に関する事。
- (14) 水質の保全及び水質検査に関する事。
- (15) 災害対策に関する事。
- (16) 営業所の所管に係る用地の買収、借入れ及び補償に関する事。
- (17) 水道事業に係る局との連絡及び地元調整に関する事。
- (18) 管路図面の整備に関する事。

<河南営業所>

- (1) 水道料金、下水道使用料等の徴収及び督促に関する事。
- (2) 水道料金、下水道使用料等の軽減又は免除に関する事。
- (3) 検針データの処理に関する事。
- (4) 使用水量の認定に関する事。
- (5) 給水の開始、中止の受付、水道メーターの管理及び取替等に関する事。

- (6) 水道施設の拡張及び改良工事に関すること。
- (7) 水道施設の支障移転等に関すること。
- (8) 水道施設台帳の整備に関すること。
- (9) 給水施設台帳の整備に関すること。
- (10) 給水装置の維持管理に関すること。
- (11) 給水に関する諸届の受付に関すること。
- (12) 水道施設の運転と維持管理に関すること。
- (13) 有収率に関すること。
- (14) 水質の保全及び水質検査に関すること。
- (15) 災害対策に関すること。
- (16) 営業所の所管に係る用地の買収、借入れ及び補償に関すること。
- (17) 水道事業に係る局との連絡及び地元調整に関すること。
- (18) 施設分担金の賦課及び徴収に関すること。
- (19) 管路図面の整備に関すること。

< 斐川営業所 >

- (1) 簡易水道料金の賦課、徴収、減免等に関すること。
- (2) 簡易水道の給水に関する諸届に関すること。
- (3) 簡易水道施設の維持管理に関すること。
- (4) 簡易水道施設の台帳整理に関すること。
- (5) 簡易水道組合に関すること。
- (6) 簡易水道事業の計画・設計・積算・施工管理に関すること。

3. 職員配置表（平成28年3月31日現在）

（単位：人）

所属別	職員数	事務	技術	補職名									
				局長	課長	主査	課長補佐	室長	係長	主任	主任技師	主事	技師
総数	38	21	17	1	2	1	4	1	4(4)	11	9	4	1
局長	1	1		1									
水道営業課	13	13			1		2		1(2)	7		2	
管理第1係	3(1)	3(1)							(1)	2		1	
管理第2係	2	2							1	1			
料金係	5(1)	5(1)							(1)	4		1	
水道施設課	20	6	14		1	1	2		3(1)	3	8	2	1
計画第1係	4	1	3						1		2	1	
計画第2係	3		3						1		2		
改良係	4		4						1		3		
給水係	5(1)	4(1)	1						(1)	3	1	1	
浄水管理室	4	1	3					1	(1)	1	1		1
浄水管理係	3(1)	1	2(1)						(1)	1	1		1

（ ）内は兼務職員再掲

4. 年齢別職員構成（平成28年3月31日現在）

区分 年齢別	事務	技術	合計	構成比
20才未満	0 人	0 人	0 人	0.0 %
20才以上～25才未満	0	0	0	0.0
25 " ～30 "	0	1	1	2.6
30 " ～35 "	1	0	1	2.6
35 " ～40 "	4	0	4	10.5
40 " ～45 "	8	6	14	36.9
45 " ～50 "	1	5	6	15.8
50 " ～55 "	3	1	4	10.5
55 "	4	4	8	21.1
合計	21	17	38	100.0
平均年齢	45歳7月	47歳4月	46歳5月	

5. 勤続年数別職員構成（平成28年3月31日現在）

区分 年数別	事務	技術	合計	構成比
1年未満	0 人	1 人	1 人	2.6 %
1年以上～3年未満	0	0	0	0.0
3 " ～5 "	0	0	0	0.0
5 " ～10 "	0	0	0	0.0
10 " ～15 "	1	1	2	5.3
15 " ～20 "	6	4	10	26.3
20 " ～25 "	6	2	8	21.1
25 " ～30 "	2	4	6	15.8
30 " ～35 "	4	2	6	15.8
35 "	2	3	5	13.1
合計	21	17	38	100.0
平均勤続年数	23年7月	24年2月	23年9月	

*市職員としての通算勤続年数

水道事業年報（平成 28 年度版）

編集 出雲市上下水道局
出雲市姫原 2 丁目 9 - 1
電話(0853)-21-3511（代）

平成 28 年（2016）12 月発行

